

第3編 災害情報 データ辞書(案)

第3編 目次

1. 概覧.....	1
1.1. 目的.....	1
1.2. 拡張についての考え方.....	1
1.3. 引用規格.....	2
2. 適用範囲.....	2
3. データ辞書識別.....	2
4. データ内容及び構造.....	3
4.1. データ内容.....	3
4.2. データ構造.....	48
5. 参照系.....	53
5.1. 時間参照系.....	53
5.2. 座標参照系.....	53
5.3. 地理識別子による空間参照系.....	53
6. データ製品配布.....	58
6.1. 配布形式情報.....	58
6.2. 配布媒体情報.....	68
7. メタデータ.....	68
附属書1 災害情報データ辞書(案) 拡張規則.....	69
1. 本附属書の位置づけ.....	69
2. 拡張のための規則.....	70
3. 制限のための規則.....	71
附属書2 他のデータ辞書からの引用.....	72
4. 本附属書の位置づけ.....	72
5. JPGIS(Japan Profile for Geographic Information Standards) 第1.0版.....	73
5.1. 空間スキーマ.....	73
5.2. 時間スキーマ.....	75
5.3. 地理識別子による空間参照.....	79
6. 各分野の標準仕様.....	84
6.1. 道路通信標準(Ver1.05)データディクショナリ編.....	84
6.2. 河川基幹データベースシステム標準仕様(案)第2.1版.....	119
7. JMP2.0(日本版メタデータプロファイル).....	121
別添1 JMP2.0	
別添2 JPGIS	

1.概覧

1.1.目的

これまで国土交通省内においては業務を支援するためのさまざまな情報システムが構築されてきた。しかしながら情報システムの多くは独自のデータ辞書をもつため、情報システム間のデータ交換が困難であった。

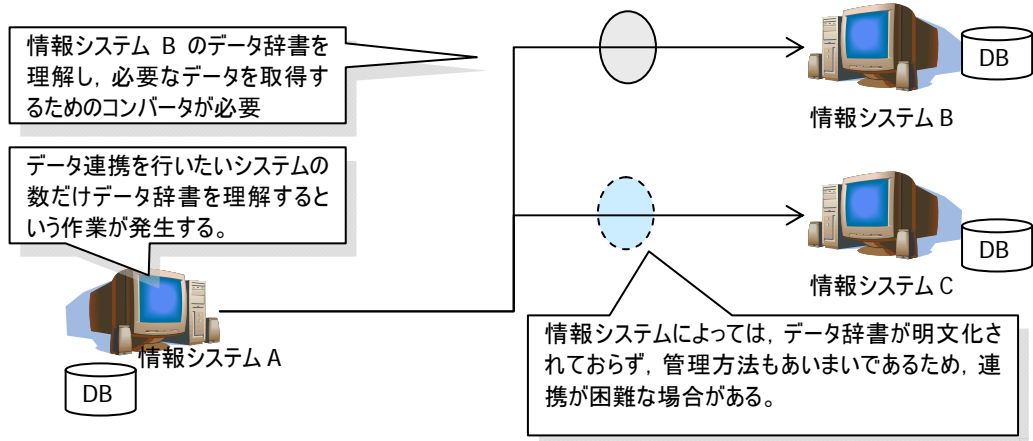


図 14 これまでのデータ交換

本データ辞書(案)は、地方整備局(企画部、河川部、道路部)および事務所(河川、道路)を中心とする国土交通省職員の災害対応業務を分析し、必要となる情報を整理し、その成果を仕様としてまとめたものである。今後情報システムを構築する場合には、この仕様を交換形式として扱うことにより、情報システム間の連携を可能とし、データの流通性を高めることを目的とする。

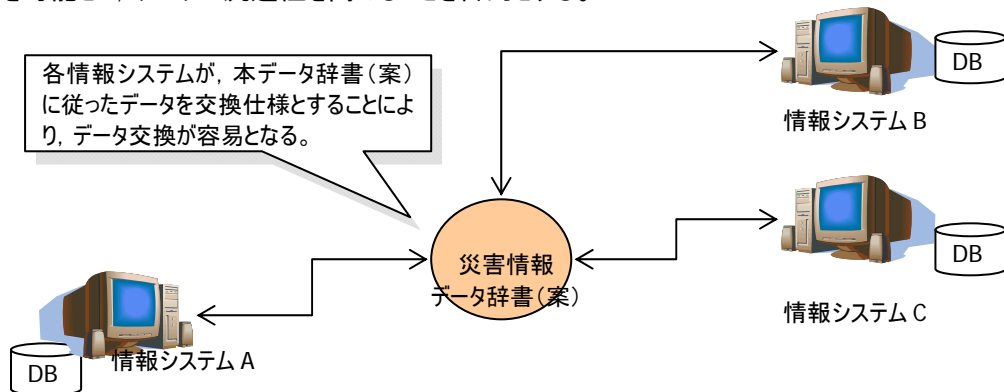


図 15 これからのデータ交換

1.2.拡張についての考え方

なお、本データ辞書(案)は、災害対応業務で必要となる汎用的な情報を定義する。本データ辞書(案)を拡張し、各地方整備局、事務所においてその地域特性等を考慮した定義を行いたい場合は、附属書に示す拡張規則に準拠しなければならない。

1.3. 引用規格

1.3.1. 引用規格及び仕様

本データ辞書(案)は以下の規格及び仕様から引用する。

[[適用する規格]]

JMP2.0 (日本版メタデータプロファイル)

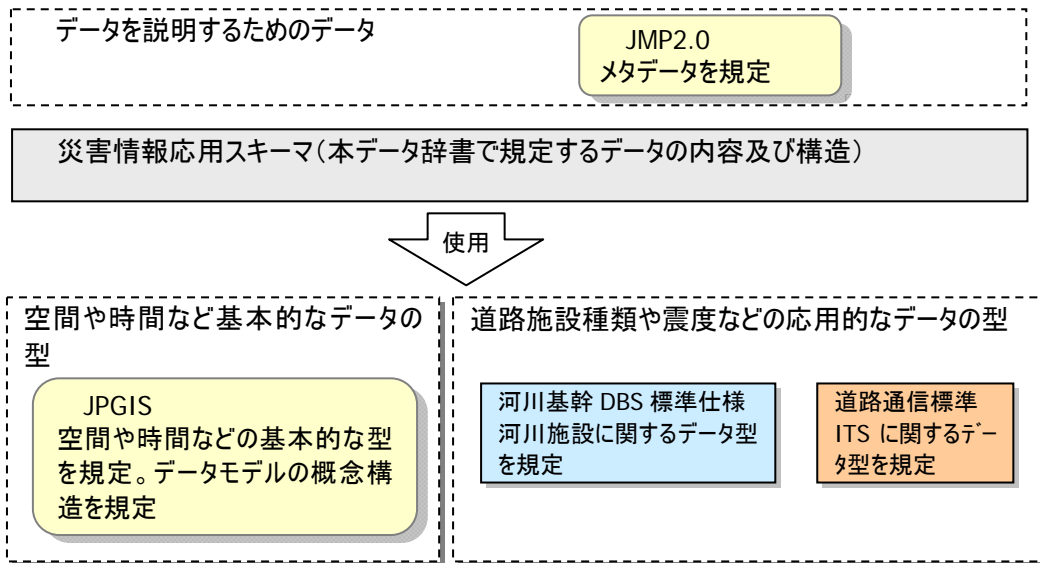
JPGIS(Japan Profile for Geographic Information Standards) 第 1.0 版

道路通信標準(Ver1.05)データディクショナリ編

河川基幹データベースシステム標準仕様(案)第 2.1 版

1.3.2. 引用規格及び仕様間の関係

本データ辞書(案)で引用する規格及び仕様間の関係を以下に示す。



本データ辞書(案)では、空間や時間を記述するための基本的なデータの型は JPGIS を採用し、道路施設の種類や被害種類、震度などの応用的なデータの型は河川基幹データベースシステム標準仕様または道路通信標準を採用することとした。

道路通信標準においても座標等基本的なデータの型を定義しているが、JPGIS は地理情報の国際規格である ISO19100 シリーズならびに国内規格である JIS X7100 シリーズに準拠している。そのため国土交通省内に限らずさまざまな分野とのデータのやり取りを想定し、JPGIS を採用することとした。

2. 適用範囲

本データ辞書(案)の適用範囲は、国土交通省内における災害対応業務において必要となる情報とする。

3. データ辞書識別

名称 : 災害情報データ辞書(案)
発効日 : 平成 18 年 3 月 22 日
問合せ先 : 国土交通省国土技術政策総合研究所
jouho@nilim.go.jp

4. データ内容及び構造

4.1. データ内容

4.1.1. データ集合

4.1.1.1. 災害情報データ集合

データ要素名	災害情報データ集合	
	タグ名称	DisasterInfomationDataset
	コード	D0010001
クラス図	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="text-align: center;"><<DataSet>> 災害情報データ集合</p> <p>+ 有効期間 : TM_Period + 災害名 : CharacterString + 災害種類 : 災害種類 = 1 + 地理的範囲 : EX_GeographicExtent</p> </div>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	災害情報の集まり。一つの災害に対して一つ作成される。複数の災害が発生した際には、一つの災害情報データ集合を作成することとし、災害種類に複数の災害を記述してもよい。	
属性	名称	有効期間
	タグ名称	validTime
	定義	災害情報の収集を開始してから、終了するまでの期間。
	型	TM_Period
	定義域	期間の長さは 10 年を越えないものとする。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	災害名
	タグ名称	name
	定義	災害を識別するために付けられた名前。
	型	CharacterString
	定義域	全角または半角英数字 40 文字以内
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	災害種類
	タグ名称	type
	定義	災害の種類。初期値は 1(震災)とする。
	型	災害種類
	定義域	1, 2, 3, 4
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	地理的範囲
	タグ名称	area
	定義	被災した範囲。被災した管轄区域を含む範囲を ・矩形 ・多角形 ・自由記述 のいずれかで記述すること。
	型	EX_GeographicExtent
	定義域	380000k m ² 以下
	多重度	1

	順序	なし
役割	名称	要素
	タグ名称	element
	定義	データ集合から、災害情報への合成関連
	型	災害情報
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		複数種類の災害が同時に発生した場合に対応し、定義を修正した。複数の災害が同時に発生した場合、被害情報等をそれぞれの災害で分類することが事実上困難であることから、複数種類の災害を一つの災害として取り扱うことを可能な構造とした。

4.1.1.2. 災害情報

データ要素名		災害情報				
	タグ名称	DisasterInfomation				
	コード	D0010002				
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">災害情報</td> </tr> <tr> <td>+ 登録者 : 担当者</td> </tr> <tr> <td>+ 情報源[0..1] : 担当者</td> </tr> <tr> <td>+ データ有効期間 : TM_Period</td> </tr> </table>	災害情報	+ 登録者 : 担当者	+ 情報源[0..1] : 担当者	+ データ有効期間 : TM_Period
災害情報						
+ 登録者 : 担当者						
+ 情報源[0..1] : 担当者						
+ データ有効期間 : TM_Period						
上位型		なし				
抽象・具象区分		抽象				
定義		災害に付随して発生した全ての情報。				
属性	名称	登録者				
	タグ名称	registant				
	定義	情報を登録した職員の氏名				
	型	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 11010009				
	定義域	道路通信標準の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
	属性	名称	情報源			
	タグ名称	resource				
	定義	情報を提供した職員の氏名。他機関等の情報も含む。登録者と同じである場合は省略可。				
	型	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 11010009				
	定義域	道路通信標準の定義に従う				
	多重度	0..1				
	順序	なし				

属性	名称	データ有効期間
	タグ名称	validTime
	定義	災害情報が登録されてから、削除されるまでの期間
	型	TM_Period
	定義域	災害情報が収録される災害情報データ集合の有効期間に含まなくてはならない。
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス	更新	
	版数	1.1
設定日	2005/02/28	
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者	JACIC	
その他	中部地方整備局ヒアリングにより、情報の品質を問うことは困難であり、情報源さえ明らかであれば、不明な点、疑問は問い合わせる、という意見を反映。	

4.1.1.3.災害種類

データ要素名	災害種類	
	タグ名称	DisasterType
	コード	D0010003
クラス図	<pre> classDiagram class DisasterType["<<CodeList>> 災害種類"] note for DisasterType "1:震災\n2:風水害\n3:火山災害\n4:雪害" </pre>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	<p>災害の種類を表すコード</p> <p>1:震災 2:風水害 3:火山災害 4:雪害</p> <p>各地方整備局、事務所の運営要領に従い、上記コードに分類されない災害を記載する場合は、コードを追加し、利用する。</p>	
登録ステータス	更新	
	版数	1.1
設定日	2005/02/28	
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者	JACIC	
その他	クラス図の修正	

4.1.1.4. 災害情報カテゴリ

データ要素名		災害情報カテゴリ			
	タグ名称	DisasterInfoCategory			
	コード	D0010004			
クラス図		<table border="1"> <tr> <td>災害情報カテゴリ</td> </tr> <tr> <td>+ カテゴリ: 情報カテゴリ</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>	災害情報カテゴリ	+ カテゴリ: 情報カテゴリ	
災害情報カテゴリ					
+ カテゴリ: 情報カテゴリ					
上位型		なし			
抽象・具象区分		具象			
定義		災害に付随して発生した全ての情報を区分するためのカテゴリ			
属性	名称	カテゴリ			
	タグ名称	category			
	定義	災害情報の分類			
	型	情報カテゴリ			
	定義域	情報カテゴリに記載された分類			
	多重度	1			
	順序	なし			
役割	名称	要素			
	タグ名称	element			
	定義	情報カテゴリから、災害情報への集成関連			
	型	災害情報			
	多重度	0..*			
	順序	なし			
登録ステータス		新規登録			
	版数	1.0			
設定日		2005/02/28			
	最終更新日	2005/02/28			
最終設定者		JACIC			
その他					

4.1.1.5.情報カテゴリ

データ要素名	情報カテゴリ		
タグ名称	DisasterInfomationCategoryCodeList		
コード	D0010005		
クラス図	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"> <<CodeList>> 情報カテゴリ </td> </tr> <tr> <td> + 点検 + 人的被害発生箇所 + 被害 + 集計結果 + 記者発表 + 支援要請・指示 + 災害用ヘリ要請 </td> </tr> </table>	<<CodeList>> 情報カテゴリ	+ 点検 + 人的被害発生箇所 + 被害 + 集計結果 + 記者発表 + 支援要請・指示 + 災害用ヘリ要請
<<CodeList>> 情報カテゴリ			
+ 点検 + 人的被害発生箇所 + 被害 + 集計結果 + 記者発表 + 支援要請・指示 + 災害用ヘリ要請			
上位型	なし		
抽象・具象区分	具象		
定義	<p>災害情報を分類するカテゴリ。アプリケーションを開発する場合はこの情報カテゴリを用いて情報を分類することができる。情報のカテゴリは任意に追加・編集してよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検 ・ 人的被害発生箇所 ・ 被害 ・ 集計結果 ・ 記者発表 ・ 支援要請・指示 ・ 災害用ヘリ要請 		
登録ステータス	新規登録		
版数	1.0		
設定日	2005/02/28		
最終更新日	2005/02/28		
最終設定者	JACIC		
その他			

4.1.2.体制

4.1.2.1.体制

データ要素名		体制		
	タグ名称	DisasterSystem		
	コード	D0020001		
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">体制</td> </tr> <tr> <td>体制種類：地整体制コード = 注意, 警戒, 非常 組織名：機関名称 発令期間：TM_Period 設置・廃止の根拠：CharacterString</td> </tr> </table>	体制	体制種類：地整体制コード = 注意, 警戒, 非常 組織名：機関名称 発令期間：TM_Period 設置・廃止の根拠：CharacterString
体制				
体制種類：地整体制コード = 注意, 警戒, 非常 組織名：機関名称 発令期間：TM_Period 設置・廃止の根拠：CharacterString				
上位型		災害情報		
抽象・具象区分		具象		
定義		地方整備局, 事務所等の体制。		
属性	名称	体制種類		
	タグ名称	type		
	定義	体制の種類。		
	型	地整体制コード 10070084		
	定義域	道路通信標準「地整体制コード」の定義に準拠する。		
	多重度	1		
	順序	なし		
属性	名称	組織名		
	タグ名称	name		
	定義	体制をとった機関の名称。		
	型	機関名称 1101005		
	定義域	道路通信標準「機関名称」の定義に準拠する。		
	多重度	1		
	順序	なし		
属性	名称	発令期間		
	タグ名称	period		
	定義	発令され, 体制をとってから解除するまでの期間。		
	型	TM_Period		
	定義域	JPGIS の定義に準拠する		
	多重度	1		
	順序	なし		
属性	名称	設置・廃止の根拠		
	タグ名称	basis		
	定義	体制をとる根拠条項やその理由		
	型	CharacterString		
	定義域	JPGIS の定義に準拠する		
	多重度	1		
	順序	なし		
登録ステータス	新規登録			
	版数	1.0		
設定日	2005/02/28			
	最終更新日	2005/02/28		
最終設定者	JACIC			
その他				

4.1.2.2.体制に応じた実施作業

データ要素名		体制に応じた実施作業				
	タグ名称	Activity				
	コード	D0020002				
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">体制に応じた実施作業</td> </tr> <tr> <td>班・係名：関連部署名</td> </tr> <tr> <td>作業概要[1..*]：CharacterString</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>	体制に応じた実施作業	班・係名：関連部署名	作業概要[1..*]：CharacterString	
体制に応じた実施作業						
班・係名：関連部署名						
作業概要[1..*]：CharacterString						
上位型		災害情報				
抽象・具象区分		具象				
定義		地方整備局, 事務所等の体制に応じた各班・各係のやるべきこと。				
属性	名称	班・係名				
	タグ名称	name				
	定義	班・係を識別する名称。				
	型	関連部署名 1101008				
	定義域	道路通信標準「関連部署名」の定義に準拠する。				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	作業概要				
	タグ名称	content				
	定義	各班・各係のやるべき内容。				
	型	CharacterString				
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。				
	多重度	1..*				
	順序	なし				
役割	名称	体制				
	タグ名称	status				
	定義	当該実施作業をやらなくてはならない体制への参照				
	型	体制				
	多重度	1				
	順序	なし				
役割	名称	様式				
	タグ名称	form				
	定義	当該実施作業で使わなくてはならない様式への参照				
	型	様式				
	多重度	0..*				
	順序	なし				
登録ステータス		新規登録				
	版数	1.0				
設定日		2005/02/28				
	最終更新日	2005/02/28				
最終設定者		JACIC				
その他						

4.1.2.3. 様式

データ要素名	様式														
タグ名称	Form														
コード	D0020003														
クラス図	<table border="1"> <tr> <td>様式</td> </tr> <tr> <td>様式名：様式名</td> </tr> </table>	様式	様式名：様式名												
様式															
様式名：様式名															
上位型	災害情報														
抽象・具象区分	具象														
定義	地方整備局，事務所等の体制に応じて，各班・各係が用いる様式。														
属性	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>様式名</td> </tr> <tr> <td>タグ名称</td> <td>name</td> </tr> <tr> <td>定義</td> <td>様式を識別する名称。</td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>様式名</td> </tr> <tr> <td>定義域</td> <td>様式名で定義されたコードのいずれか。</td> </tr> <tr> <td>多重度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>順序</td> <td>なし</td> </tr> </table>	名称	様式名	タグ名称	name	定義	様式を識別する名称。	型	様式名	定義域	様式名で定義されたコードのいずれか。	多重度	1	順序	なし
名称	様式名														
タグ名称	name														
定義	様式を識別する名称。														
型	様式名														
定義域	様式名で定義されたコードのいずれか。														
多重度	1														
順序	なし														
役割	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>災害情報</td> </tr> <tr> <td>タグ名称</td> <td>info</td> </tr> <tr> <td>定義</td> <td>当該実施作業をやらなくてはならない体制への参照</td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>災害情報</td> </tr> <tr> <td>多重度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>順序</td> <td>なし</td> </tr> </table>	名称	災害情報	タグ名称	info	定義	当該実施作業をやらなくてはならない体制への参照	型	災害情報	多重度	1	順序	なし		
名称	災害情報														
タグ名称	info														
定義	当該実施作業をやらなくてはならない体制への参照														
型	災害情報														
多重度	1														
順序	なし														
登録ステータス	新規登録														
版数	1.0														
設定日	2005/02/28														
最終更新日	2005/02/28														
最終設定者	JACIC														
その他															

4.1.2.4. 情報カテゴリ

データ要素名	様式名	
タグ名称	FormatIdentifier	
コード	D0020004	
クラス図	<table border="1"> <tr> <td><<CodeList>> 様式名</td> </tr> </table>	<<CodeList>> 様式名
<<CodeList>> 様式名		
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	様式の名称。地方整備局の防災業務計画や事務所で指定された様式の様式番号等，様式を識別するコードを定義する。	
登録ステータス	新規登録	
版数	1.0	
設定日	2005/02/28	
最終更新日	2005/02/28	
最終設定者	JACIC	
その他		

4.1.3.伝達情報
4.1.3.1.伝達情報

データ要素名		伝達情報
	タグ名称	Message
	コード	D0030001
クラス図		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="text-align: center;"><<Type>> 伝達情報</p> <ul style="list-style-type: none"> + 発信元 : 担当者 + 受信先 : 担当者 + 発信日時 : TM_Instant + 受信日時 : TM_Instant + 種類 : 伝達情報種類 + 内容 : CharacterString </div>
上位型		災害情報
抽象・具象区分		具象
定義		国土交通省内において上位機関から下位機関への指示事項, 下位機関から上位機関への報告, 支援要請あるいは機関内での伝達で交わされる情報
属性	名称	発信元
	タグ名称	sender
	定義	情報を発信した職員の氏名
	型	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 1101009
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	受信元
	タグ名称	addressee
	定義	情報を受信した職員の氏名
	型	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 1101009
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	発信日時
	タグ名称	sendTime
	定義	伝達情報が発信された日時
	型	TM_Instant
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	受信日時
	タグ名称	receiveTime
	定義	伝達情報が受信された日時
	型	TM_Instant
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1

	順序	なし
属性	名称	種類
	タグ名称	type
	定義	伝達情報の種類。
	型	伝達情報種類
	定義域	伝達情報種類に定められたコード
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	内容
	タグ名称	contents
	定義	やり取りされた内容
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	親
	タグ名称	parent
	定義	当該伝達情報の元となる伝達情報
	型	伝達情報
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	子
	タグ名称	child
	定義	当該伝達情報の子となる伝達情報
	型	伝達情報
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	資機材
	タグ名称	request
	定義	伝達情報に付随する支援要請の内容への参照
	型	不足する資機材
	多重度	0..1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.3.2.必要な資機材

データ要素名		必要な資機材						
	タグ名称	RequestResource						
	コード	D0030002						
クラス図		<table border="1"> <tr> <td>不足する資機材</td> </tr> <tr> <td>+ 名称 : CharacterString</td> </tr> <tr> <td>+ 規格 : CharacterString</td> </tr> <tr> <td>+ 単位 : CharacterString</td> </tr> <tr> <td>+ 数量 : Decimal</td> </tr> <tr> <td>+ 出動機関[0,1] : 機関名</td> </tr> </table>	不足する資機材	+ 名称 : CharacterString	+ 規格 : CharacterString	+ 単位 : CharacterString	+ 数量 : Decimal	+ 出動機関[0,1] : 機関名
不足する資機材								
+ 名称 : CharacterString								
+ 規格 : CharacterString								
+ 単位 : CharacterString								
+ 数量 : Decimal								
+ 出動機関[0,1] : 機関名								
上位型		災害情報						
抽象・具象区分		具象						
定義		地方整備局, 事務所等の体制に応じた各班・各係のやるべきこと。						
属性	名称	名称						
	タグ名称	name						
	定義	必要な資機材の名称。						
	型	CharacterString						
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	規格						
	タグ名称	spec						
	定義	必要な資機材の規格。						
	型	CharacterString						
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	単位						
	タグ名称	unit						
	定義	必要な資機材の単位						
	型	CharacterString						
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	数量						
	タグ名称	quantity						
	定義	必要な資機材の量						
	型	Decimal						
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	出動機関						
	タグ名称	send						
	定義	必要な資機材の量						
	型	機関名称 1101005						
	定義域	道路通信標準「機関名称」の定義に準拠する。						
	多重度	0..1						
	順序	なし						
役割	名称	伝達情報						

	タグ名称	message
	定義	当該必要資機材が要請・指示された元となる情報への参照
	型	伝達情報
	多重度	1..*
	順序	なし
登録ステータス	新規登録	
	版数	1.0
設定日	2005/02/28	
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC	
その他		

4.1.3.3.伝達情報種類

データ要素名	伝達情報種類							
	タグ名称	MessageType						
	コード	D0030003						
クラス図	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"> <<CodeList>> 伝達情報種類 </td> </tr> <tr> <td>+ 1 : 指示</td> </tr> <tr> <td>+ 2 : 要請</td> </tr> <tr> <td>+ 3 : 報告</td> </tr> <tr> <td>+ 4 : 伝達</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>		<<CodeList>> 伝達情報種類	+ 1 : 指示	+ 2 : 要請	+ 3 : 報告	+ 4 : 伝達	
<<CodeList>> 伝達情報種類								
+ 1 : 指示								
+ 2 : 要請								
+ 3 : 報告								
+ 4 : 伝達								
上位型	なし							
抽象・具象区分	具象							
定義	伝達情報の種類。以下のコードに従う。 1: 指示 2: 要請 3: 報告 4: 伝達							
登録ステータス	新規登録							
	版数	1.0						
設定日	2005/02/28							
	最終更新日	2005/02/28						
最終設定者	JACIC							
その他								

4.1.3.4.担当者

データ要素名		担当者				
	タグ名称	Charge				
	コード	D0030004				
クラス図		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;"> <<DataType>> 担当者 </td> </tr> <tr> <td>+ 組織名 : 機関名称</td> </tr> <tr> <td>+ 部署名 : 関連部署名</td> </tr> <tr> <td>+ 氏名 : 担当氏名</td> </tr> </table>	<<DataType>> 担当者	+ 組織名 : 機関名称	+ 部署名 : 関連部署名	+ 氏名 : 担当氏名
<<DataType>> 担当者						
+ 組織名 : 機関名称						
+ 部署名 : 関連部署名						
+ 氏名 : 担当氏名						
上位型		なし				
抽象・具象区分		具象				
定義		情報を発信・受信した職員の所属・氏名				
属性	名称	組織名				
	タグ名称	org				
	定義	組織名称				
	型	機関名称 1101005				
	定義域	道路通信標準の定義に準拠する。				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	部署名				
	タグ名称	sec				
	定義	部署の名称。				
	型	関連部署名 1101008				
	定義域	道路通信標準の定義に準拠する。				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	氏名				
	タグ名称	name				
	定義	担当者の名前				
	型	担当氏名 11010009				
	定義域	道路通信標準の定義に準拠する。				
	多重度	1				
	順序	なし				
登録ステータス		新規登録				
	版数	1.0				
設定日		2005/02/28				
	最終更新日	2005/02/28				
最終設定者		JACIC				
その他						

4.1.4.災害時に発生する情報

4.1.4.1.地震

データ要素名		地震																
	タグ名称	Earthquake																
	コード	D0040001																
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">地震</th> </tr> <tr> <td style="padding-left: 5px;">+</td> <td>地震名称 : CharacterString</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 5px;">+</td> <td>震度 : 震度</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 5px;">+</td> <td>震源地 : CharacterString</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 5px;">+</td> <td>地震規模 : 震源規模</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 5px;">+</td> <td>発災日時 : TM.Instant</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 5px;">+</td> <td>震源の深さ : 震源深さ</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 5px;">+</td> <td>津波発生可能性 : Boolean</td> </tr> </table>	地震		+	地震名称 : CharacterString	+	震度 : 震度	+	震源地 : CharacterString	+	地震規模 : 震源規模	+	発災日時 : TM.Instant	+	震源の深さ : 震源深さ	+	津波発生可能性 : Boolean
地震																		
+	地震名称 : CharacterString																	
+	震度 : 震度																	
+	震源地 : CharacterString																	
+	地震規模 : 震源規模																	
+	発災日時 : TM.Instant																	
+	震源の深さ : 震源深さ																	
+	津波発生可能性 : Boolean																	
上位型		災害情報																
抽象・具象区分		具象																
定義		地方整備局または事務所が体制をとる必要がある地震。																
属性	名称	震度																
	タグ名称	rank																
	定義	地震のときの地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすもの。各地に設置された震度計や気象台や測候所の担当者の判断により、気象庁の震度階級に基づき震度1～8で定義される。																
	型	震度 10010076																
	定義域	道路通信標準の定義に従う																
	多重度	1																
	順序	なし																
属性	名称	震源地																
	タグ名称	center																
	定義	地震が発生した場所																
	型	CharacterString																
	定義域	JPGIS の定義に従う																
	多重度	1																
属性	名称	地震規模																
	タグ名称	scale																
	定義	震源の規模(マグネチュード)を現す数値。																
	型	震源規模 10070072																
	定義域	道路通信標準の定義に従う																
	多重度	1																
属性	名称	発災日時																
	タグ名称	break																
	定義	地震が発生した日時。																
	型	TM_Instant																
	定義域	JPGIS の定義に準拠する																
	多重度	1																
属性	名称	震源の深さ																
	タグ名称	depth																
	定義	震源の深さ。																

	型	震源深さ 10050073
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	津波発生の可能性
	タグ名称	tsunami
	定義	当該地震による津波発生の可能性の有無
	型	Boolean
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	余震
	タグ名称	aftershock
	定義	当該地震の後に続いて発生する地震
	型	地震
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	震度分布
	タグ名称	distribution
	定義	当該地震による各地の震度
	型	震度分布
	多重度	1..*
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.2.震度分布

データ要素名		震度分布			
	タグ名称	RankDistribution			
	コード	D0040002			
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">震度分布</td> </tr> <tr> <td>+ 震度：震度</td> </tr> <tr> <td>+ 観測地：地理識別子</td> </tr> </table>	震度分布	+ 震度：震度	+ 観測地：地理識別子
震度分布					
+ 震度：震度					
+ 観測地：地理識別子					
上位型		災害情報			
抽象・具象区分		具象			
定義		地震によって各地の観測所で観測された震度			
属性	名称	震度			
	タグ名称	rank			
	定義	地震のときの地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすもの。各地に設置された震度計や気象台や測候所の担当者の判断により、気象庁の震度階級に基づき震度1～8で定義される。			
	型	震度 10010076			
	定義域	道路通信標準の定義に従う			
	多重度	1			
	順序	なし			
属性	名称	観測地			
	タグ名称	point			
	定義	震度が観測された地点			
	型	地理識別子			
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。			
	多重度	1			
	順序	なし			
登録ステータス		新規登録			
	版数	1.0			
設定日		2005/02/28			
	最終更新日	2005/02/28			
最終設定者		JACIC			
その他					

4.1.4.3. 気象

データ要素名		気象					
	タグ名称	WeatherCondition					
	コード	D0040003					
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">気象</td> </tr> <tr> <td>+ 場所: 地理識別子</td> </tr> <tr> <td>+ 気象形態: 気象形態</td> </tr> <tr> <td>+ 日時: TM_Instant</td> </tr> <tr> <td>+ 予測内容[0..1]: 気象状態予測</td> </tr> </table>	気象	+ 場所: 地理識別子	+ 気象形態: 気象形態	+ 日時: TM_Instant	+ 予測内容[0..1]: 気象状態予測
気象							
+ 場所: 地理識別子							
+ 気象形態: 気象形態							
+ 日時: TM_Instant							
+ 予測内容[0..1]: 気象状態予測							
上位型		災害情報					
抽象・具象区分		具象					
定義		大気の状態					
属性	名称	場所					
	タグ名称	point					
	定義	気象が観測または予測された地点					
	型	地理識別子					
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。					
	多重度	1					
	順序	なし					
属性	名称	気象形態					
	タグ名称	condition					
	定義	気象とはある地域の気温・湿度・降水量・日照時間・雲量等を総合した大気の状態をいい、気象状態を、気象コードに合わせて示す。雲量がおおむね 80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、雲量がおおむね 80%以上の状態で、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね 1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。					
	型	気象形態 10070001					
	定義域	道路通信標準の定義に従う					
	多重度	1					
	順序	なし					
属性	名称	日時					
	タグ名称	date					
	定義	気象が観測または予測された日時					
	型	TM_Instant					
	定義域	JPGIS の定義に従う					
	多重度	1					
	順序	なし					
属性	名称	予測内容					
	タグ名称	forecast					
	定義	現場作業員が気象庁予報などを参考に判断した、気象状態予測(今後の状態)を、気象状況予測コードとして示す。					
	型	気象状態予測 10070002					
	定義域	道路通信標準の定義に従う					
	多重度	0..1					
	順序	なし					
登録ステータス		新規登録					
	版数	1.0					
設定日		2005/02/28					

最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC
その他	

4.1.4.4.点検

データ要素名	点検			
タグ名称	Inspection			
コード	D0040004			
クラス図	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">点検</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">+ 点検種類: 管理</td> </tr> </table>		点検	+ 点検種類: 管理
点検				
+ 点検種類: 管理				
上位型	災害情報			
抽象・具象区分	具象			
定義	各出張所の担当者が所管施設の被災状況を確認すること			
属性	名称	点検種類		
	タグ名称	type		
	定義	点検の対象となる施設の種類の		
	型	管理		
	定義域	管理でコード化されたコード		
	多重度	1		
	順序	なし		
役割	名称	点検区間		
	タグ名称	section		
	定義	当該点検で巡回する区間		
	型	点検単位		
	多重度	1		
	順序	なし		
役割	名称	点検結果		
	タグ名称	result		
	定義	当該点検の結果		
	型	点検結果		
	多重度	0..1		
登録ステータス	版数	1.0		
	登録ステータス	新規登録		
設定日	設定日	2005/02/28		
	最終更新日	2005/02/28		
最終設定者	JACIC			
その他				

4.1.4.5.管理

データ要素名	管理				
	タグ名称	Manage			
	コード	D0040005			
クラス図	<table border="1"> <tr> <td><<CodeList>> 管理</td> </tr> <tr> <td>+ 1 : 河川</td> </tr> <tr> <td>+ 2 : 道路</td> </tr> </table>		<<CodeList>> 管理	+ 1 : 河川	+ 2 : 道路
<<CodeList>> 管理					
+ 1 : 河川					
+ 2 : 道路					
上位型	なし				
抽象・具象区分	具象				
定義	管理の種類。以下のコードに従う。各機関は、管理する施設の種類により、以下のコードを追加作成する。 1: 河川 2: 道路				
登録ステータス	新規登録				
	版数	1.0			
設定日	2005/02/28				
	最終更新日	2005/02/28			
最終設定者	JACIC				
その他					

4.1.4.6.点検単位

データ要素名	点検単位						
	タグ名称	InspectionUnit					
	コード	D0040006					
クラス図	<table border="1"> <tr> <td>点検単位</td> </tr> <tr> <td>+ 点検区間 : Sequence<地理識別子></td> </tr> <tr> <td>+ 点検期間種類 : 事象状態区分 = 未着手</td> </tr> <tr> <td>+ 点検期間[0..1] : TM_Period</td> </tr> <tr> <td>+ 点検情報 : CharacterString</td> </tr> </table>		点検単位	+ 点検区間 : Sequence<地理識別子>	+ 点検期間種類 : 事象状態区分 = 未着手	+ 点検期間[0..1] : TM_Period	+ 点検情報 : CharacterString
点検単位							
+ 点検区間 : Sequence<地理識別子>							
+ 点検期間種類 : 事象状態区分 = 未着手							
+ 点検期間[0..1] : TM_Period							
+ 点検情報 : CharacterString							
上位型	災害情報						
抽象・具象区分	具象						
定義	各出張所の担当者が所管施設の被災状況を確認する単位						
属性	名称	点検区間					
	タグ名称	unit					
	定義	点検する区間					
	型	Sequence<地理識別子>					
	定義域	点検区間の始点、終点はかならず含まなくてはならない。					
	多重度	1					
	順序	あり					
属性	名称	点検期間種類					
	タグ名称	type					
	定義	点検の進捗状態。 [詳細無し(0)、予定(1)、発生中(3)、終了(4)、無効データ(9)]					
	型	事象状態区分 10070094					
	定義域	道路通信標準の定義に準拠する。使用可能なコードは 0: 未着手の場合 1: 予定された場合					

		2:点検中 3:点検完了 のみとする。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	点検期間
	タグ名称	term
	定義	点検開始から終了までの期間
	型	TM_Period
	定義域	JPGIS の定義に従う。
	多重度	0..1
	順序	なし
属性	名称	点検情報
	タグ名称	info
	定義	点検者等点検についての詳細な情報を記す。既存資料の所在やファイル名等を記載してもよい。
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に従う。
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	施設
	タグ名称	facilities
	定義	点検区間内の点検対象となる施設への参照
	型	施設
	多重度	1..*
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.7.点検結果

データ要素名		点検結果		
	タグ名称	InspectionResult		
	コード	D0040007		
クラス図		<table border="1"> <tr> <td>点検結果</td> </tr> <tr> <td>+ 被害有無 : Boolean</td> </tr> </table>	点検結果	+ 被害有無 : Boolean
点検結果				
+ 被害有無 : Boolean				
上位型		災害情報		
抽象・具象区分		具象		
定義		各出張所の担当者が所管施設の被災状況を確認した結果		
属性	名称	被害有無		
	タグ名称	check		
	定義	点検区間に被害が存在したか否か。被害があった場合は True, なかった場合は False となる。		
	型	Boolean		
	定義域	JPGIS の定義に従う		
	多重度	1		
	順序	なし		
役割	名称	被害		
	タグ名称	damages		
	定義	点検結果となる施設の被害情報への参照		
	型	施設被害		
	多重度	0..*		
	順序	なし		
登録ステータス		新規登録		
	版数	1.0		
設定日		2005/02/28		
	最終更新日	2005/02/28		
最終設定者		JACIC		
その他				

4.1.4.8.被害

データ要素名		被害						
	タグ名称	Damage						
	コード	D0040008						
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">被害</td> </tr> <tr> <td>+ 発見日時 : TM_Instant</td> </tr> <tr> <td>+ 発見者 : 担当者</td> </tr> <tr> <td>+ 目印[0..1] : 地理識別子</td> </tr> <tr> <td>+ 内容 : 災害の概略</td> </tr> <tr> <td>+ 施設名[0..1] : 地理識別子</td> </tr> </table>	被害	+ 発見日時 : TM_Instant	+ 発見者 : 担当者	+ 目印[0..1] : 地理識別子	+ 内容 : 災害の概略	+ 施設名[0..1] : 地理識別子
被害								
+ 発見日時 : TM_Instant								
+ 発見者 : 担当者								
+ 目印[0..1] : 地理識別子								
+ 内容 : 災害の概略								
+ 施設名[0..1] : 地理識別子								
上位型		災害情報						
抽象・具象区分		具象						
定義		災害によって発生した被害						
属性	名称	発見日時						
	タグ名称	date						
	定義	被害を発見した日時						
	型	TM_Instant						
	定義域	JPGIS の定義に従う						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	発見者						
	タグ名称	担当者						
	定義	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 1101009						
	型	道路通信標準の定義に従う						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	目印						
	タグ名称	site						
	定義	被害発生箇所が目印になるもの						
	型	地理識別子						
	定義域	JPGIS の定義に従う						
	多重度	0..1						
	順序	なし						
属性	名称	内容						
	タグ名称	content						
	定義	災害の内容を記述する						
	型	災害の概略 10070038						
	定義域	道路通信標準の定義に従う						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	施設名						
	タグ名称	name						
	定義	被害を受けた施設の名称						
	型	地理識別子						
	定義域	被災地域内の施設の名称であること						
	多重度	0..1						

	順序	なし
役割	名称	施設
	タグ名称	facility
	定義	施設への参照
	型	施設
	定義域	被災地域内に存在する施設への参照であること。
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/22
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.9.一般被害

データ要素名		一般被害		
	タグ名称	OtherDamages		
	コード	D0040009		
クラス図		<table border="1"> <tr> <td>一般被害</td> </tr> <tr> <td>+ 発生場所：地理識別子</td> </tr> </table>	一般被害	+ 発生場所：地理識別子
一般被害				
+ 発生場所：地理識別子				
上位型		被害		
抽象・具象区分		具象		
定義		防災エキスパート等から報告された一般被害の情報		
属性	名称	発生場所		
	タグ名称	point		
	定義	被害が報告された場所		
	型	地理識別子		
	定義域	JPGIS の定義に従う		
	多重度	1		
	順序	なし		
登録ステータス		更新		
	版数	1.1		
設定日		2005/02/28		
	最終更新日	2006/03/27		
最終設定者		JACIC		
その他		上位クラスに属性を移動。		

4.1.4.10. 庁舎の被害

データ要素名		庁舎の被害			
	タグ名称	DamagesOfGOB			
	コード	D0040010			
クラス図		<table border="1"> <tr> <td>庁舎の被害</td> </tr> <tr> <td>+ 被害規模 : 規模</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>	庁舎の被害	+ 被害規模 : 規模	
庁舎の被害					
+ 被害規模 : 規模					
上位型		被害			
抽象・具象区分		具象			
定義		地方整備局や事務所, 出張所の庁舎に対する被害の内容			
属性	名称	被害規模			
	タグ名称	scale			
	定義	被害の規模			
	型	被害規模			
	定義域	規模で定められたコード			
	多重度	1			
	順序	なし			
登録ステータス		更新			
	版数	1.1			
設定日		2005/02/28			
	最終更新日	2006/03/27			
最終設定者		JACIC			
その他		上位クラスに属性を移動。内容自体は変更無。			

4.1.4.11. 観測機器被害

データ要素名		観測機器被害		
	タグ名称	ObservatoryDamages		
	コード	D0040011		
クラス図		<table border="1"> <tr> <td>観測機器被害</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>	観測機器被害	
観測機器被害				
上位型		被害		
抽象・具象区分		具象		
定義		各出張所の担当者が観測機器の被災状況を確認した結果		
登録ステータス		更新		
	版数	1.1		
設定日		2005/02/28		
	最終更新日	2006/03/07		
最終設定者		JACIC		
その他		属性及び関連を上位クラスに移動		

4.1.4.12.施設被害

データ要素名		施設被害										
	タグ名称	FacilityDamages										
	コード	D0040012										
クラス図		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">施設被害</td> </tr> <tr> <td>+ 人的被害有無</td> <td>: Boolean</td> </tr> <tr> <td>+ 被害規模</td> <td>: 規模</td> </tr> <tr> <td>+ 交通規制有無</td> <td>: Boolean</td> </tr> <tr> <td>+ 被害箇所</td> <td>: 区間</td> </tr> </table>	施設被害		+ 人的被害有無	: Boolean	+ 被害規模	: 規模	+ 交通規制有無	: Boolean	+ 被害箇所	: 区間
施設被害												
+ 人的被害有無	: Boolean											
+ 被害規模	: 規模											
+ 交通規制有無	: Boolean											
+ 被害箇所	: 区間											
上位型		被害										
抽象・具象区分		具象										
定義		各出張所の担当者が点検によって確認した所管施設の被災状況										
属性	名称	人的被害有無										
	タグ名称	human										
	定義	人的被害があったか否か。被害があった場合は True, なかった場合は False。										
	型	Boolean										
	定義域	JPGIS の定義に従う										
	多重度	1										
	順序	なし										
属性	名称	交通規制有無										
	タグ名称	traffic										
	定義	交通規制があるか否か。交通規制があった場合は True。なかった場合は False										
	型	Boolean										
	定義域	JPGIS の定義に従う										
属性	名称	被害箇所										
	タグ名称	segment										
	定義	被害が発生した区間。開始点のみでもよい。										
	型	区間										
	定義域	被災地域内に含まれること										
役割	名称	交通規制										
	タグ名称	traffic										
	定義	被害により発生した交通規制への参照										
	型	交通規制										
	多重度	0..1										
	順序	なし										
役割	名称	詳細										
	タグ名称	details										
	定義	詳細情報への参照										
	型	施設被害詳細										
	多重度	0..*										
	順序	なし										
登録ステータス		更新										
	版数	1.1										
設定日		2005/02/28										
	最終更新日	2006/03/27										
最終設定者		JACIC										
その他												

4.1.4.13.施設被害詳細

データ要素名		施設被害詳細			
	タグ名称	FacilityDamageDetails			
	コード	D0040013			
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">施設被害詳細</td> </tr> <tr> <td>+ 被害詳細 : CharacterString</td> </tr> <tr> <td>+ 緊急復旧の必要性 : Boolean</td> </tr> </table>	施設被害詳細	+ 被害詳細 : CharacterString	+ 緊急復旧の必要性 : Boolean
施設被害詳細					
+ 被害詳細 : CharacterString					
+ 緊急復旧の必要性 : Boolean					
上位型		施設被害			
抽象・具象区分		具象			
定義		各出張所の担当者が詳細点検により確認した所管施設の被災状況			
属性	名称	緊急復旧の必要性			
	タグ名称	urgency			
	定義	緊急復旧の必要性があるかないか			
	型	Boolean			
	定義域	true, false			
	多重度	1			
	順序	なし			
属性	名称	被害詳細			
	タグ名称	Details			
	定義	被害の詳細。既存資料の所在やファイル名等を記載する。			
	型	CharacterString			
	定義域	JPGIS の定義に従う。			
	多重度	1			
	順序	なし			
役割	名称	計画			
	タグ名称	plan			
	定義	応急復旧計画への参照			
	型	応急復旧計画			
	多重度	0..*			
	順序	なし			
登録ステータス		更新			
	版数	1.1			
設定日		2005/02/28			
	最終更新日	2005/03/27			
最終設定者		JACIC			
その他					

4.1.4.14.工事現場被害

データ要素名		工事現場被害					
	タグ名称	ConstructionSiteDamages					
	コード	D0040014					
クラス図		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">工事現場被害</td> </tr> <tr> <td>+ 避難人数 : Integer</td> </tr> <tr> <td>+ 負傷者人数 : Integer</td> </tr> <tr> <td>+ 行方不明者数 : Integer</td> </tr> <tr> <td>+ 被害規模 : 規模</td> </tr> </table>	工事現場被害	+ 避難人数 : Integer	+ 負傷者人数 : Integer	+ 行方不明者数 : Integer	+ 被害規模 : 規模
工事現場被害							
+ 避難人数 : Integer							
+ 負傷者人数 : Integer							
+ 行方不明者数 : Integer							
+ 被害規模 : 規模							
上位型		被害					
抽象・具象区分		具象					
定義		工事現場の被災状況					
属性	名称	避難人数					
	タグ名称	evacuee					
	定義	避難している人数。					
	型	Integer					
	定義域	JPGIS の定義に従う					
	多重度	1					
	順序	なし					
属性	名称	負傷者					
	タグ名称	injured					
	定義	負傷している人数。					
	型	Integer					
	定義域	JPGIS の定義に従う					
	多重度	1					
	順序	なし					
属性	名称	行方不明者数					
	タグ名称	missing					
	定義	行方不明の人数。					
	型	Integer					
	定義域	JPGIS の定義に従う					
	多重度	1					
	順序	なし					
属性	名称	被害規模					
	タグ名称	scale					
	定義	被害の規模					
	型	被害規模					
	定義域	規模で定められたコード					
	多重度	1					
	順序	なし					
登録ステータス		新規登録					
	版数	1.0					
設定日		2005/02/28					
	最終更新日	2005/02/28					
最終設定者		JACIC					
その他							

4.1.4.15.テレビ・ラジオ情報

データ要素名		テレビ・ラジオの情報										
	タグ名称	News										
	コード	D0040015										
クラス図		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">テレビ・ラジオの情報</th> </tr> <tr> <td>+ 放送日時</td> <td>: TM_Instant</td> </tr> <tr> <td>+ 放送局</td> <td>: CharacterString</td> </tr> <tr> <td>+ 放送内容</td> <td>: 災害の概要</td> </tr> <tr> <td>+ 施設名[0..*]</td> <td>: 地理識別子</td> </tr> </table>	テレビ・ラジオの情報		+ 放送日時	: TM_Instant	+ 放送局	: CharacterString	+ 放送内容	: 災害の概要	+ 施設名[0..*]	: 地理識別子
テレビ・ラジオの情報												
+ 放送日時	: TM_Instant											
+ 放送局	: CharacterString											
+ 放送内容	: 災害の概要											
+ 施設名[0..*]	: 地理識別子											
上位型		被害										
抽象・具象区分		具象										
定義		各出張所の担当者が所管施設の被災状況を確認した結果										
属性	名称	放送日時										
	タグ名称	date										
	定義	報道された日時										
	型	TM_Instant										
	定義域	JPGIS の定義に従う										
	多重度	1										
	順序	なし										
属性	名称	放送局										
	タグ名称	press										
	定義	報道した報道機関の名称										
	型	CharacterString										
	定義域	JPGIS の定義に従う										
	多重度	1										
	順序	なし										
属性	名称	放送内容										
	タグ名称	contents										
	定義	放送された被害の内容										
	型	災害の概略 10070038										
	定義域	道路通信標準の定義に従う。										
	多重度	1										
	順序	なし										
属性	名称	施設名										
	タグ名称	name										
	定義	報道された施設の名前										
	型	地理識別子										
	定義域	JPGIS の定義に従う										
	多重度	0..*										
	順序	なし										
役割	名称	施設										
	タグ名称	facilities										
	定義	報道された対象となる施設										
	型	施設										
	多重度	0..*										
	順序	なし										
登録ステータス		削除										
	版数	1.0										
設定日		2005/02/28										

最終更新日	2006/03/27
最終設定者	JACIC
その他	テレビ・ラジオ情報は、情報源であるため使用しない。

4.1.4.16. 応急復旧計画

データ要素名		応急復旧計画	
	タグ名称	EmaergencyPlan	
	コード	D0040016	
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 応急復旧計画 + 工事区間：区間 + 計画内容：復旧概要 + 情報の確認：登録状況 = 未確認 </td> </tr> </table>	応急復旧計画 + 工事区間：区間 + 計画内容：復旧概要 + 情報の確認：登録状況 = 未確認
応急復旧計画 + 工事区間：区間 + 計画内容：復旧概要 + 情報の確認：登録状況 = 未確認			
上位型		災害情報	
抽象・具象区分		具象	
定義		工事現場の被災状況	
属性	名称	工事区間	
	タグ名称	segment	
	定義	応急復旧計画が立てられた区間	
	型	区間	
	定義域	関連する被害の区間との包含・近接関係があること	
	多重度	1	
	順序	なし	
属性	名称	計画内容	
	タグ名称	plan	
	定義	応急復旧の計画詳細。図面等既存資料の所在や関連するファイル名を記述してもよい。	
	型	復旧概要	
	定義域	道路通信標準の定義に従う	
	多重度	1	
	順序	なし	
属性	名称	情報の確認	
	タグ名称	confirmation	
	定義	事務所から報告された応急復旧計画の内容が地方整備局で確認されたか、修正の指示がだされたかを記載する。	
	型	登録状況	
	定義域	登録状況に定義されたコードに従う。	
	多重度	1	
	順序	なし	
役割	名称	施設被害詳細	
	タグ名称	damages	
	定義	元となる被害情報への参照	
	型	施設被害詳細	
	多重度	1	
	順序	なし	
役割	名称	応急復旧	
	タグ名称	repairs	
	定義	実施状態を示す応急復旧への参照	
	型	応急復旧	
	多重度	1..*	

	順序	なし
役割	名称	伝達情報
	タグ名称	messages
	定義	当該応急復旧計画に対しての指示事項等を示す伝達情報への参照
	型	伝達情報
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス	更新	
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/03/27
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.17. 応急復旧

データ要素名		応急復旧	
	タグ名称	EmergencyRepairs	
	コード	D0040017	
クラス図		<table border="1"> <tr> <td> <p style="text-align: center;">応急復旧</p> <ul style="list-style-type: none"> + 作業期間 : TM_Period + 状況 : 応急復旧状況 = 予定 + 実施内容[0..1] : 復旧概要 </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;">応急復旧</p> <ul style="list-style-type: none"> + 作業期間 : TM_Period + 状況 : 応急復旧状況 = 予定 + 実施内容[0..1] : 復旧概要
<p style="text-align: center;">応急復旧</p> <ul style="list-style-type: none"> + 作業期間 : TM_Period + 状況 : 応急復旧状況 = 予定 + 実施内容[0..1] : 復旧概要 			
上位型		災害情報	
抽象・具象区分		具象	
定義		応急復旧の作業状況	
属性	名称	作業期間	
	タグ名称	period	
	定義	実際に応急復旧に要した期間	
	型	TM_Period	
	定義域	JPGIS の定義に従う	
	多重度	1	
	順序	なし	
属性	名称	状況	
	タグ名称	status	
	定義	応急復旧時の復旧作業実施状況を示す。 { 未着手(0), 工事中(1), 工事完了(2), 無効データ(9) }	
	型	応急復旧状況	
	定義域	道路通信標準の定義に従う	
	多重度	1	
	順序	なし	
属性	名称	実施内容	
	タグ名称	contents	
	定義	応急復旧の実施内容。図面等既存資料の所在や関連するファイル名を記述してもよい。	
	型	復旧概要	
	定義域	道路通信標準の定義に従う	
	多重度	0..1	
	順序	なし	
役割	名称	応急復旧計画	

	タグ名称	plan
	定義	元となる応急復旧計画への参照
	型	応急復旧計画
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス	新規登録	
	版数	1.0
設定日	2005/02/28	
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC	
その他		

4.1.4.18.規模

データ要素名	規模							
	タグ名称	DamageScale						
	コード	D0040018						
クラス図	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;"> <<CodeList>> 規模 </td> </tr> <tr> <td>+ 1 : 甚大</td> </tr> <tr> <td>+ 2 : 大</td> </tr> <tr> <td>+ 3 : 中</td> </tr> <tr> <td>+ 4 : 小</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>		<<CodeList>> 規模	+ 1 : 甚大	+ 2 : 大	+ 3 : 中	+ 4 : 小	
<<CodeList>> 規模								
+ 1 : 甚大								
+ 2 : 大								
+ 3 : 中								
+ 4 : 小								
上位型	なし							
抽象・具象区分	具象							
定義	<p>災害の規模。以下のコードに従う。</p> <p>1: 甚大 被災の程度が大きく、当該施設の機能をまっとうできない。かつ人的被害が発生あるいは発生の恐れがある。</p> <p>2: 大 被災の程度が大きく、当該施設の機能をまっとうできない。</p> <p>3: 中 当該施設の機能の一部に不具合が生じるが利用は可能である。</p> <p>4: 小 被災しているが、当該施設の機能に大きな影響はない</p>							
登録ステータス	新規登録							
	版数	1.0						
設定日	2005/02/28							
	最終更新日	2005/02/28						
最終設定者	JACIC							
その他								

4.1.4.19.登録状況

データ要素名	登録状況	
	タグ名称	EntryStatus
	コード	D0040019

クラス図		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <<CodeList>> 登録状況 + 1 : 未確認 + 2 : 確認 + 3 : 修正指示 </div>
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	伝達情報の種類。以下のコードに従う。 1: 未確認 2: 確認 3: 修正指示	
登録ステータス	新規登録	
版数	1.0	
設定日	2005/02/28	
最終更新日	2005/02/28	
最終設定者	JACIC	
その他		

4.1.4.20.工事現場被害

データ要素名	交通規制	
タグ名称	TrafficRestriction	
コード	D0040020	
クラス図		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 交通規制 + 規制区間 : 区間 + 規制期間 : TM_Period + 規制内容 : 規制内容 + 位置図[0..1] : CharacterString </div>
上位型	被害	
抽象・具象区分	具象	
定義	道路被害や復旧活動にともなう道路の閉鎖	
属性	名称	規制区間
	タグ名称	segment
	定義	規制している区間
	型	区間
	定義域	管轄内に存在すること
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	規制期間
	タグ名称	period
	定義	規制している期間
	型	Integer
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	規制内容
	タグ名称	contents
	定義	規制の内容
	型	規制内容

	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	位置図
	タグ名称	map
	定義	位置を表す図面
	型	CharacterString
	定義域	ファイル名等
	多重度	0..1
	順序	なし
登録ステータス	新規登録	
	版数	1.0
設定日	2005/02/28	
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC	
その他		

4.1.5. 平常時に蓄積する情報

4.1.5.1. 施設

データ要素名	施設				
	タグ名称	Facilities			
	コード	D0050001			
クラス図	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">施設</td> </tr> <tr> <td>+ 施設名[0..1] : 地理識別子</td> </tr> <tr> <td>+ 場所 : 区間</td> </tr> </table>		施設	+ 施設名[0..1] : 地理識別子	+ 場所 : 区間
施設					
+ 施設名[0..1] : 地理識別子					
+ 場所 : 区間					
上位型	なし				
抽象・具象区分	具象				
定義	国土交通省の道路管理者や河川管理者等が管理する施設。				
属性	名称	施設名			
	タグ名称	name			
	定義	施設を識別する名称			
	型	地理識別子			
	定義域	JPGIS の定義に従う			
	多重度	0..1			
	順序	なし			
属性	名称	場所			
	タグ名称	location			
	定義	施設が設置された区間。開始位置のみでもかまわない。			
	型	区間			
	定義域	管理区域内に存在すること			
	多重度	1			
役割	名称	施設諸元			
	タグ名称	details			
	定義	当該施設の設計時の情報や図面，日常点検結果や防災対策施工結果等への参照			
	型	施設諸元等			
	多重度	1			
	順序	なし			
登録ステータス	更新				
	版数	1.1			
設定日	2005/02/28				
	最終更新日	2006/03/27			
最終設定者	JACIC				
その他	施設の位置を上位クラスに移動				

4.1.5.2. 施設諸元等

データ要素名	施設諸元等		
	タグ名称	FacilityDetails	
	コード	D0050002	
クラス図	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">施設諸元等</td> </tr> </table>		施設諸元等
施設諸元等			
上位型	なし		
抽象・具象区分	具象		
定義	国土交通省の道路管理者や河川管理者等が管理する施設の詳細な情報。諸元や図面類など既存資料の所在やファイル名を記述することができる。		

登録ステータス	新規登録
版数	1.0
設定日	2005/02/28
最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC
その他	

4.1.5.3.道路施設

データ要素名	道路施設					
タグ名称	RoadFacilities					
コード	D0050003					
クラス図	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">道路施設</td> </tr> <tr> <td>+ 道路施設種類：構造物種別</td> </tr> <tr> <td>+ 運用管理：機関名称</td> </tr> <tr> <td>+ 緊急輸送路種別：CharacterString</td> </tr> </table>		道路施設	+ 道路施設種類：構造物種別	+ 運用管理：機関名称	+ 緊急輸送路種別：CharacterString
道路施設						
+ 道路施設種類：構造物種別						
+ 運用管理：機関名称						
+ 緊急輸送路種別：CharacterString						
上位型	施設					
抽象・具象区分	具象					
定義	国土交通省の道路管理者が管理する施設。					
属性	名称	道路施設種類				
	タグ名称	type				
	定義	道路施設の種類の				
	型	構造物種別				
	定義域	道路通信標準の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	運用管理				
	タグ名称	manage				
	定義	当該道路を運用管理する機関の区分				
	型	施設管理区分				
	定義域	河川基幹 DB の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	緊急輸送路種別				
	タグ名称	emergencyType				
	定義	緊急輸送路種別の指定種別				
	型	CharacterString				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
役割	名称	指定				
	タグ名称	section				
	定義	防災上等なんらかの指定を受けている区間への参照				
	型	防災区間				
	定義域	道路施設の区間と包含関係にあること				
	多重度	0..*				
	順序	なし				
登録ステータス	新規登録					
版数	1.0					
設定日	2005/02/28					

最終更新日	2006/03/27
最終設定者	JACIC
その他	防災区間への参照を追加。

4.1.5.4.河川施設

データ要素名	河川施設				
タグ名称	RiverFacilities				
コード	D0050004				
クラス図	<table border="1"> <tr> <td>河川施設</td> </tr> <tr> <td>+ 河川施設種類：河川構造物種別</td> </tr> <tr> <td>+ 運用管理：機関名称</td> </tr> </table>		河川施設	+ 河川施設種類：河川構造物種別	+ 運用管理：機関名称
河川施設					
+ 河川施設種類：河川構造物種別					
+ 運用管理：機関名称					
上位型	施設				
抽象・具象区分	具象				
定義	国土交通省の河川管理者が管理する施設。				
属性	名称	河川施設種類			
	タグ名称	type			
	定義	河川施設の種類			
	型	河川構造物種別			
	定義域	河川基幹 DB 仕様の定義に従う			
	多重度	1			
	順序	なし			
属性	名称	運用管理			
	タグ名称	manage			
	定義	当該河川施設を運用管理する機関の区分			
	型	施設管理区分			
	定義域	河川基幹 DB の定義に従う			
	多重度	1			
	順序	なし			
役割	名称	指定			
	タグ名称	section			
	定義	防災上等なんらかの指定を受けている区間への参照			
	型	防災区間			
	定義域	河川施設の区間と包含関係にあること			
	多重度	0..*			
	順序	なし			
登録ステータス	更新				
版数	1.1				
設定日	2005/02/28				
最終更新日	2006/03/27				
最終設定者	JACIC				
その他	防災区間への参照および運用管理を追加。				

4.1.5.5.建設現場

データ要素名		建設現場				
	タグ名称	Constructions				
	コード	D0050005				
クラス図		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">建設現場</td> </tr> <tr> <td>+ 工事名 : <code>CharacterString</code></td> </tr> <tr> <td>+ 作業人数 : <code>Integer</code></td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>	建設現場	+ 工事名 : <code>CharacterString</code>	+ 作業人数 : <code>Integer</code>	
建設現場						
+ 工事名 : <code>CharacterString</code>						
+ 作業人数 : <code>Integer</code>						
上位型		施設				
抽象・具象区分		具象				
定義		国土交通省の道路または河川管理者が管理する施設の建設現場				
属性	名称	工事名				
	タグ名称	name				
	定義	工事の名称				
	型	CharacterString				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	作業人数				
	タグ名称	workers				
	定義	当該建設現場に従事する作業者の人数				
	型	Integer				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
登録ステータス		新規登録				
	版数	1.0				
設定日		2005/02/28				
	最終更新日	2005/02/28				
最終設定者		JACIC				
その他						

4.1.5.6. 観測機器

データ要素名		観測機器			
	タグ名称	Observatory			
	コード	D0050006			
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">観測機器</td> </tr> <tr> <td>+ 種類: センサ種別</td> </tr> <tr> <td>+ 観測対象: 地理識別子</td> </tr> </table>	観測機器	+ 種類: センサ種別	+ 観測対象: 地理識別子
観測機器					
+ 種類: センサ種別					
+ 観測対象: 地理識別子					
上位型		施設			
抽象・具象区分		具象			
定義		道路や河川等の施設に設置された常時観測機器			
属性	名称	種類			
	タグ名称	type			
	定義	観測機器の種類			
	型	センサ種別			
	定義域	道路通信標準の定義に従う			
	多重度	1			
	順序	なし			
属性	名称	観測対象			
	タグ名称	subject			
	定義	観測機器が観測する対象となる施設			
	型	地理識別子			
	定義域	JPGIS の定義に従う			
	多重度	1			
	順序	なし			
役割	名称	収集情報			
	タグ名称	info			
	定義	観測した情報への参照			
	型	常時観測機器からの情報			
	多重度	1			
	順序	なし			
登録ステータス		新規登録			
	版数	1.0			
設定日		2005/02/28			
	最終更新日	2005/02/28			
最終設定者		JACIC			
その他					

4.1.5.7. 庁舎概要

データ要素名		庁舎概要				
	タグ名称	GovrenmentOfficeBuilding				
	コード	D0050007				
クラス図		<table border="1"> <tr> <td>庁舎概要</td> </tr> <tr> <td>+ 構造 : CharacterString</td> </tr> <tr> <td>+ 延べ面積 : Decimal</td> </tr> <tr> <td>+ 所在地 : 地理識別子</td> </tr> </table>	庁舎概要	+ 構造 : CharacterString	+ 延べ面積 : Decimal	+ 所在地 : 地理識別子
庁舎概要						
+ 構造 : CharacterString						
+ 延べ面積 : Decimal						
+ 所在地 : 地理識別子						
上位型		施設				
抽象・具象区分		具象				
定義		国土交通省が管理する建物の概要				
属性	名称	所在地				
	タグ名称	address				
	定義	庁舎の所在地				
	型	地理識別子				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	構造				
	タグ名称	structure				
	定義	庁舎の構造				
	型	CharacterString				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	延べ面積				
	タグ名称	area				
	定義	庁舎の延べ面積				
	型	Decimal				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
登録ステータス		新規登録				
	版数	1.0				
設定日		2005/02/28				
	最終更新日	2005/02/28				
最終設定者		JACIC				
その他						

4.1.5.8.地理識別子

データ要素名	地理識別子				
	タグ名称	GeographicIdentifier			
	コード	D0050008			
クラス図	<table border="1"> <tr> <td><<Basic Type>> 地理識別子</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>		<<Basic Type>> 地理識別子		
<<Basic Type>> 地理識別子					
上位型	CharacterString				
抽象・具象区分	具象				
定義	場所を識別する文字列。SI_LocationInstance の属性 geographicIdentifier または alternativeGeographicIdentifier の値と一致しなくてはならない。				
登録ステータス	新規登録				
	版数	1.0			
設定日	2006/03/27				
	最終更新日	2006/03/27			
最終設定者	JACIC				
その他					

4.1.5.9.防災施設

データ要素名	防災施設				
	タグ名称	Disaster-preventionFacility			
	コード	D0050010			
クラス図	<table border="1"> <tr> <td>防災施設</td> </tr> <tr> <td>+ 種類 : CharacterString</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>		防災施設	+ 種類 : CharacterString	
防災施設					
+ 種類 : CharacterString					
上位型	施設				
抽象・具象区分	具象				
定義	防災上の施設				
属性	名称	種類			
	タグ名称	type			
	定義	防災施設の種類			
	型	CharacterString			
	定義域	防災拠点, 防災倉庫, 広域避難所 など			
	多重度	1			
	順序	なし			
登録ステータス	新規登録				
	版数	1.0			
設定日	2006/03/27				
	最終更新日	2006/02/27			
最終設定者	JACIC				
その他	背景データとして必要な施設を追加。				

4.1.5.10.堤防

データ要素名		堤防		
	タグ名称	Bank		
	コード	D0050009		
クラス図		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">堤防</td> </tr> <tr> <td>+ 暫定・供用の別 : CharacterString</td> </tr> </table>	堤防	+ 暫定・供用の別 : CharacterString
堤防				
+ 暫定・供用の別 : CharacterString				
上位型		河川施設		
抽象・具象区分		具象		
定義		河川水・湖水の氾濫(はんらん)、海水の浸入を防ぐため河岸・湖岸・海岸に沿って築造する土石・コンクリートなどの構築物。土手。つつみ。		
属性	名称	暫定・供用の別		
	タグ名称	type		
	定義	堤防の状態		
	型	CharacterString		
	定義域	暫定, 供用		
	多重度	1		
	順序	なし		
登録ステータス		新規登録		
	版数	1.0		
設定日		2006/03/27		
	最終更新日	2006/02/27		
最終設定者		JACIC		
その他		背景データとして必要な施設を追加。		

4.1.5.11.防災区間

データ要素名		防災区間			
	タグ名称	Disaster-preventionSection			
	コード	D0050011			
クラス図		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">防災区間</td> </tr> <tr> <td>+ 区間 : 区間</td> </tr> <tr> <td>+ 種類 : CharacterString</td> </tr> </table>	防災区間	+ 区間 : 区間	+ 種類 : CharacterString
防災区間					
+ 区間 : 区間					
+ 種類 : CharacterString					
上位型		なし			
抽象・具象区分		具象			
定義		路線や河川など、特定の区間を指定した区間			
属性	名称	区間			
	タグ名称	segment			
	定義	指定される区間。開始位置のみでもよい。			
	型	区間			
	定義域	管轄区間との包含関係があること。			
	多重度	1			
	順序	なし			
属性	名称	種類			
	タグ名称	type			
	定義	指定される区間の種類			
	型	CharacterString			
	定義域	水防団区間, 洪水予報区間, 直轄地すべり防止箇所, 直轄砂防区域, 雨量規制区間			
	多重度	1			

順序	なし
登録ステータス	新規登録
版数	1.0
設定日	2006/03/27
最終更新日	2006/02/27
最終設定者	JACIC
その他	背景データとして必要な施設を追加。

4.1.5.12. 区間

データ要素名	区間														
タグ名称	Segment														
コード	D0050012														
クラス図	<table border="1"> <tr> <td>区間</td> </tr> <tr> <td>+ 開始位置 : 地理識別子</td> </tr> <tr> <td>+ 終了位置[0..1] : 地理識別子</td> </tr> </table>	区間	+ 開始位置 : 地理識別子	+ 終了位置[0..1] : 地理識別子											
区間															
+ 開始位置 : 地理識別子															
+ 終了位置[0..1] : 地理識別子															
上位型	なし														
抽象・具象区分	具象														
定義	路線や河川など、特定の区間を指定した区間														
属性	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>開始位置</td> </tr> <tr> <td>タグ名称</td> <td>start</td> </tr> <tr> <td>定義</td> <td>指定される区間の開始位置</td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>地理識別子</td> </tr> <tr> <td>定義域</td> <td>管轄区間との包含関係があること。</td> </tr> <tr> <td>多重度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>順序</td> <td>なし</td> </tr> </table>	名称	開始位置	タグ名称	start	定義	指定される区間の開始位置	型	地理識別子	定義域	管轄区間との包含関係があること。	多重度	1	順序	なし
名称	開始位置														
タグ名称	start														
定義	指定される区間の開始位置														
型	地理識別子														
定義域	管轄区間との包含関係があること。														
多重度	1														
順序	なし														
属性	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>終了位置</td> </tr> <tr> <td>タグ名称</td> <td>end</td> </tr> <tr> <td>定義</td> <td>指定される区間の終了位置</td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>地理識別子</td> </tr> <tr> <td>定義域</td> <td>管轄区間との包含関係があること。</td> </tr> <tr> <td>多重度</td> <td>0..1</td> </tr> <tr> <td>順序</td> <td>なし</td> </tr> </table>	名称	終了位置	タグ名称	end	定義	指定される区間の終了位置	型	地理識別子	定義域	管轄区間との包含関係があること。	多重度	0..1	順序	なし
名称	終了位置														
タグ名称	end														
定義	指定される区間の終了位置														
型	地理識別子														
定義域	管轄区間との包含関係があること。														
多重度	0..1														
順序	なし														
登録ステータス	新規登録														
版数	1.0														
設定日	2006/03/27														
最終更新日	2006/02/27														
最終設定者	JACIC														
その他															

4.1.5.13. ハザードマップ

データ要素名	ハザードマップ	
タグ名称	HazardMap	
コード	D0050013	
クラス図	<table border="1"> <tr> <td>ハザードマップ</td> </tr> </table>	ハザードマップ
ハザードマップ		
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	浸水予想区域等を色分けした地図。	
登録ステータス	新規登録	

	版数	1.0
設定日		2006/03/27
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.6.他のデータ辞書から引用する型

詳細は附属書を参照すること。

4.1.6.1.JPGIS(地理情報標準プロファイル)から引用する型

型名	概略
TM_Period	期間を記述するための型
TM_Instant	瞬間を記述するための型
GM_Object	幾何形状を記述するための最上位の型
GM_Point	点を記述するための型
DirectPosition	座標値を記述するための型
SI_Gazetteer	地名集を記述するための型
SI_LocationType	地理識別子の型を記述するための型
SI_LocationInstance	地理識別子を記述するための型
CharacterString	文字列を記述するための型
Decimal	十進数を記述するための型
Integer	整数を記述するための型

4.1.6.2.道路通信標準から引用する型

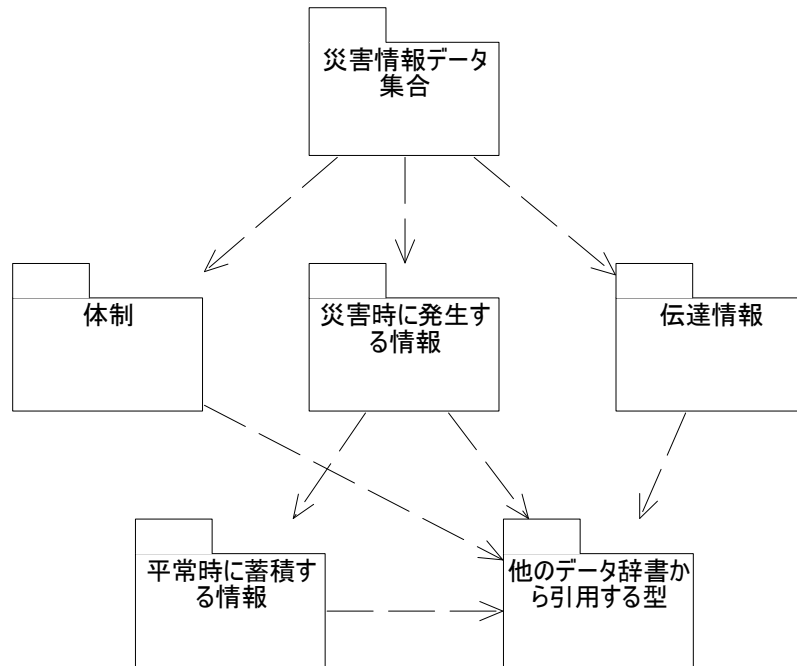
型名	データ ID	概略
機関名称	11010005	機関の名称を記述するための型
関連部署名	11010008	部署の名称を記述するための型
担当氏名	11010009	氏名を記述するための型
路線名	10020002	路線名を記述するための型
路線方向	10020007	路線方向を記述するための型
国土交通省路線毎 KP	10010014	道路距離標を記述するための型
規制内容	10070054	交通規制の内容を記述する型
気象形態	10070001	気象状態を記述するための型
気象状態予測	10070002	気象状態の予測内容を記述するための型
構造物種別	10040035	道路施設の種別を記述するための型
運営主体住所	11010010	住所を記述するための型
運営主体電話番号	11010011	電話番号を記述するための型
運営主体 FAX 番号	11010012	FAX 番号を記述するための型
運営主体 Email アドレス	11010013	Email アドレスを記述するための型
地整体制コード	10070084	機関の体制を記述するための型
震度	10070076	震度を記述するための型
震源規模	10070072	マグニチュードを記述するための型
震源深さ	10050073	震源の深さを記述するための型
渋滞状況	10070070	渋滞の程度を記述するための型
1 時間交通量	10050007	1 時間の交通量を記述するための型
災害の概略	10070038	災害の概要を記述するための型
復旧概要	10070041	復旧概要を記述するための型
応急復旧状況	10070093	応急復旧の状況を記述するための型
センサ種別	12100001	観測機器の種別を記述するための型
道路被害状況	10070023 ~ 10070031	道路被害の内容を記述するための型

4.1.6.3.河川基幹データベースシステム標準仕様(案)から引用する型

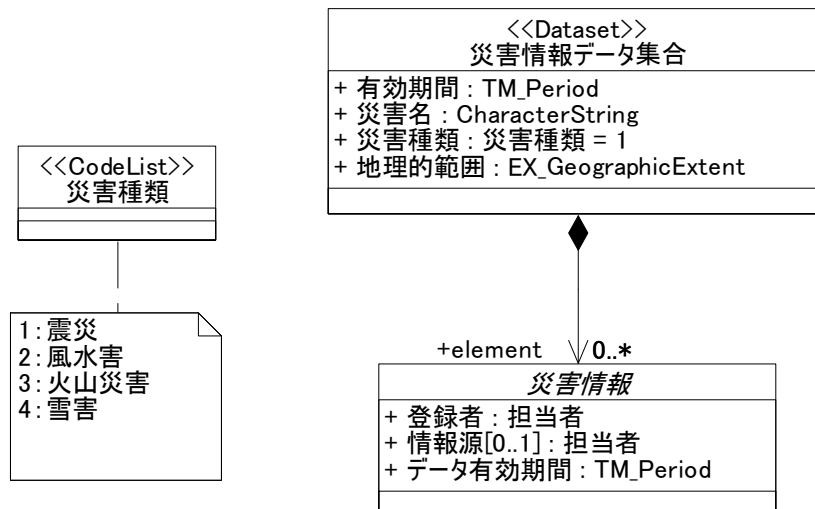
型名	概略
河川番号	河川を識別するための型
水系名	水系を記述するための型
河川名	河川名を記述するための型
左右岸	左右岸を記述するための型
河川構造物種別	河川構造物の種別を記述するための型
施設管理区分	河川構造物を管理する区分

4.2.データ構造

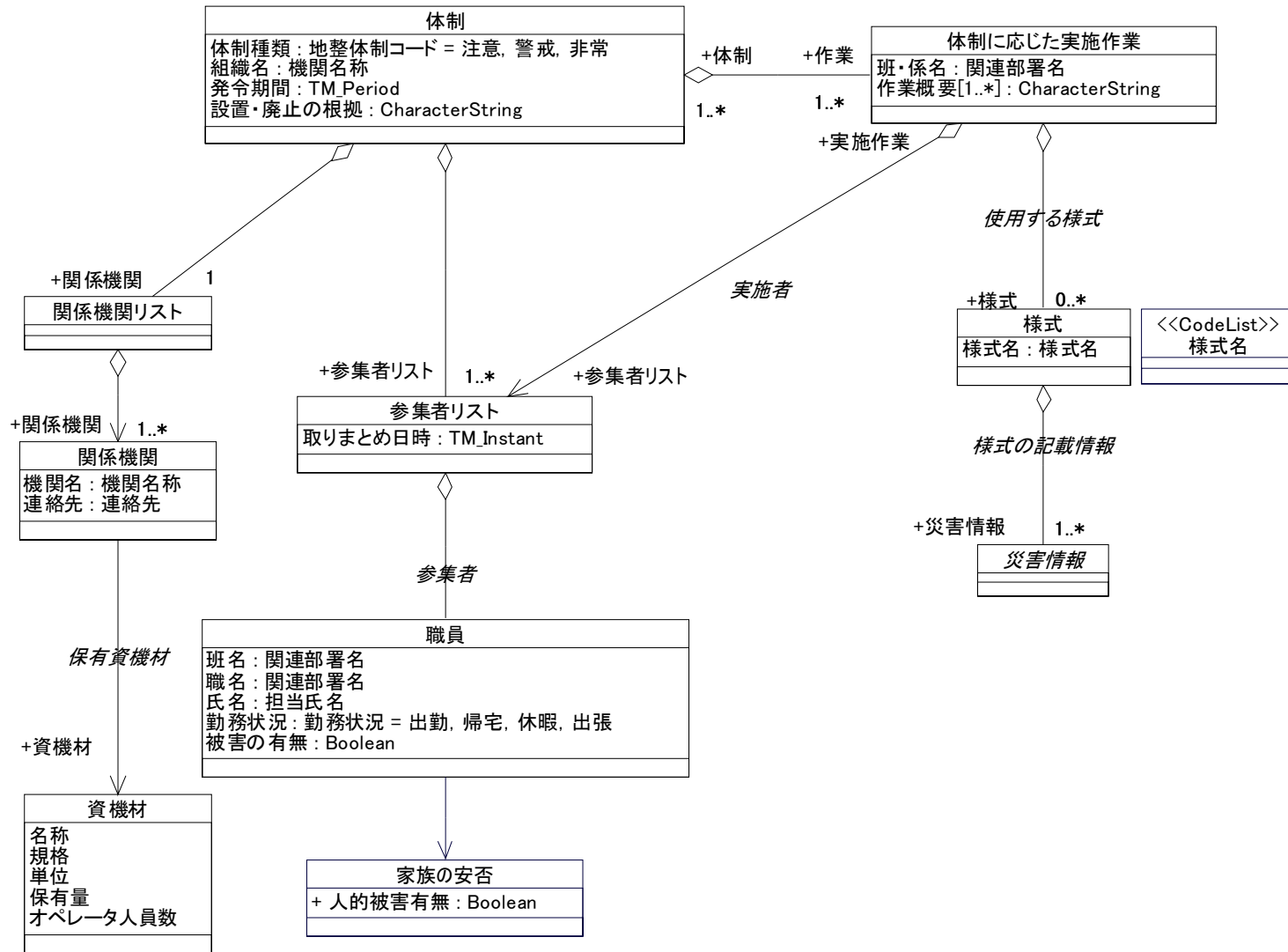
4.2.1.パッケージ構成



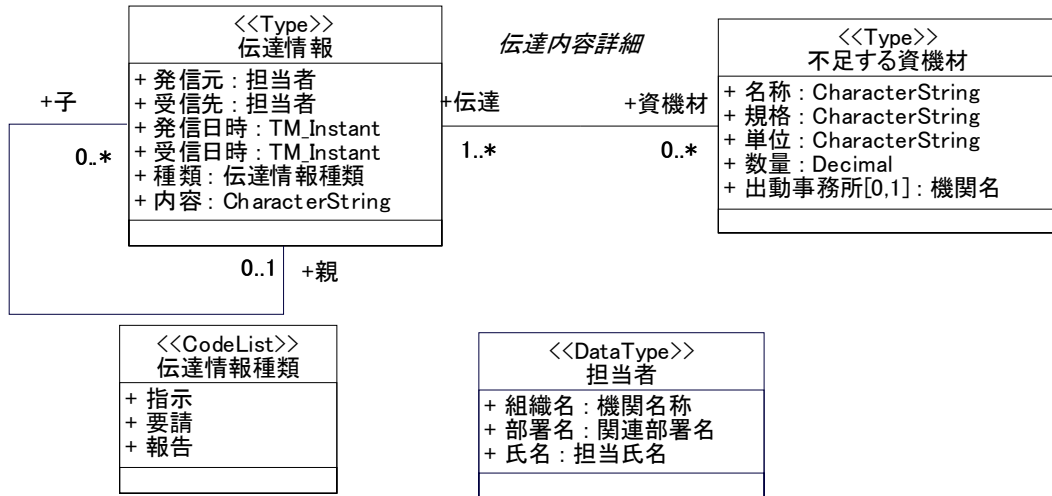
4.2.2.データ集合



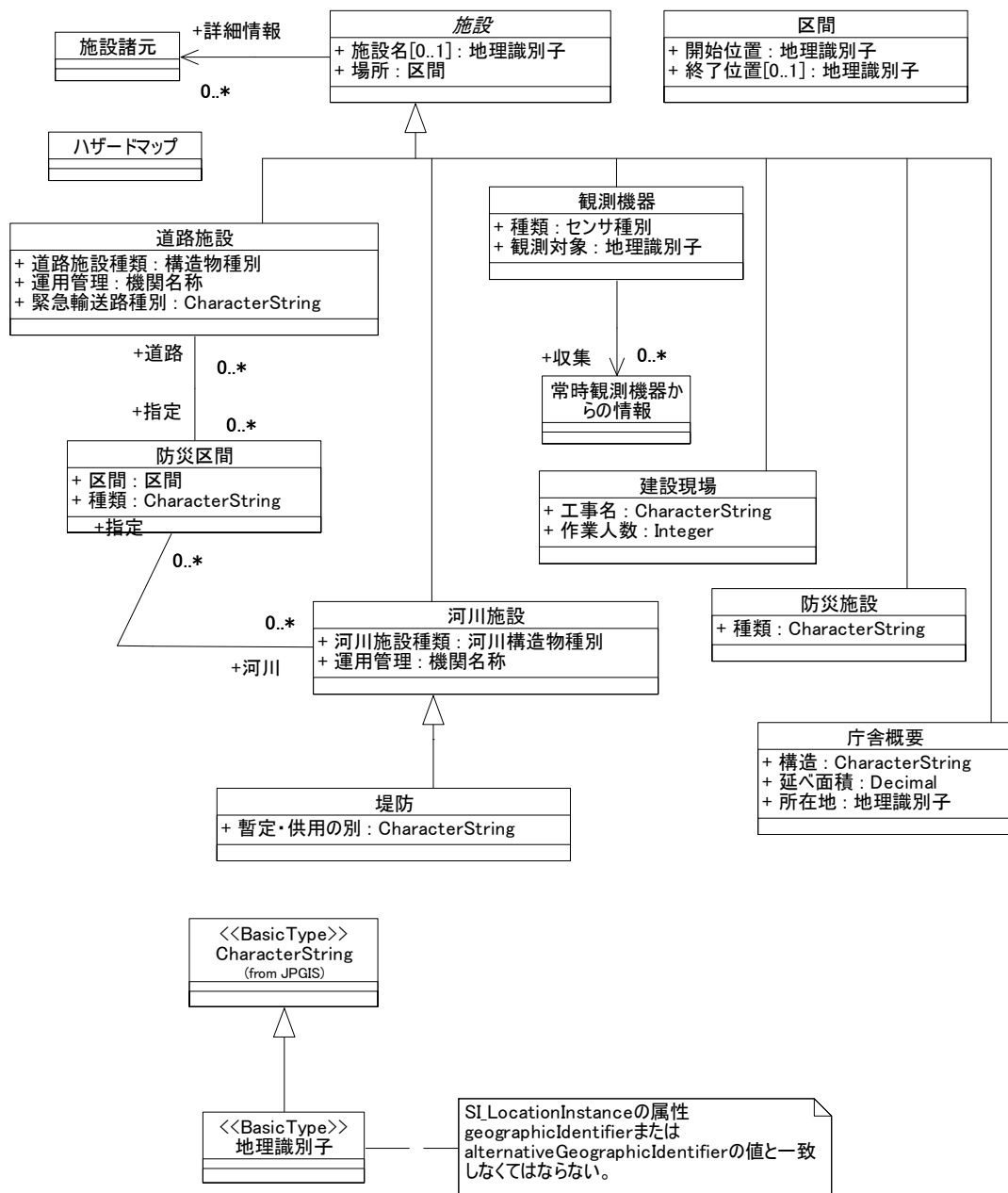
4.2.3.体制



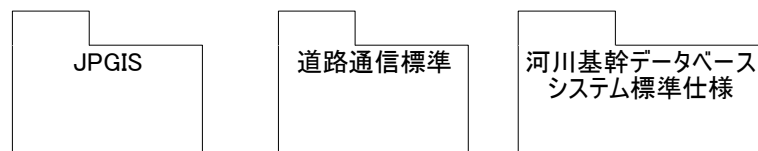
4.2.4.伝達情報



4.2.6. 平常時に蓄積する情報



4.2.7. 他のデータ辞書から引用する型



5. 参照系

5.1. 時間参照系

時間参照系は、参照系識別子：GC / JST※を採用する。

※ 別称：グレゴリオ暦/日本標準時

5.2. 座標参照系

座標参照系は、参照系識別子：JGD2000, TP/ (B,L),H ※を採用する。

※ 別称：日本測地系 2000(緯度, 経度), 東京湾平均海面上の高さ

5.3. 地理識別子による空間参照系

本データ辞書(案)で使用する地理識別子による空間参照系を以下の通り定義する。

場所インスタンスを作成する場合は、以下の定義に基づき、該当する場所型を参照しなくてはならない。

	識別子またはID	説明
地理識別子による空間参照系	LRS_Mlit	国土交通省における地理識別子による空間参照系
場所型	LT_Address	住所のための場所型
	LT_RivP	河川距離標のための場所型
	LT_RdP	道路距離標のための場所型
	LT_RdEg	路線名のための場所型
	LT_RivEg	河川名のための場所型
	LT_Fc	施設のための場所型(ランドマーク等)
	LT_RivFc	河川施設のための場所型
	LT_RdFc	道路施設のための場所型
	LT_RdNd	交差点名のための場所型
	LT_RivNd	文合流点のための場所型
	LT_Office	事務所管理区域のための場所型
	LT_Branch	出張所管理区域のための場所型

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<GI xmlns="http://www.mlit.go.jp/gis/schema/LRS_Mlit"
xmlns:jps="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://www.mlit.go.jp/gis/schema/LRS_Mlit
LRS_Mlit.xsd" version="1.0" timeStamp="2006-02-22T09:30:47-09:00">
  <dataset>
    <object>
      <jps:RS_LRS id="LRS_Mlit">
        <jps:RS_ReferenceSystem.name>
          <jps:RS_Identifier>
            <jps:RS_Identifier.code> LRS_Mlit </jps:RS_Identifier.code>
          </jps:RS_Identifier>
        </jps:RS_ReferenceSystem.name>
        <jps:RS_LRS.theme>国土交通省のための地理識別子による空間参照系</jps:RS_LRS.theme>
        <jps:RS_LRS.overallOwner>
          <jps:CI_ResponsibleParty>
            <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
          </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
          <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
        </jps:RS_LRS.overallOwner>
      </jps:RS_LRS>
    </object>
  </dataset>
</GI>
```

```

    </jps:CI_ResponsibleParty>
  </jps:RS_LRS.overallOwner>
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_Address" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RivP" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RdP" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RdEg" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RivEg" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_Fc" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RdFc" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RivFc" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RdNd" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RivNd" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_Office" />
  <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_Branch" />
</jps:RS_LRS>
  <jps:SI_LocationType id="LT_Address" >
    <jps:SI_LocationType.name>住所</jps:SI_LocationType.name>
    <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
    <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
    <jps:SI_LocationType.definition>人が居住する場所の名前または土地の名前
  </jps:SI_LocationType.definition>
    <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001" />
    <jps:SI_LocationType.owner>
      <jps:CI_ResponsibleParty>
        <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
      </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
        <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
      </jps:CI_ResponsibleParty>
    </jps:SI_LocationType.owner>
  </jps:SI_LocationType>
  <jps:SI_LocationType id="LT_RivP">
    <jps:SI_LocationType.name>河川距離標</jps:SI_LocationType.name>
    <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
    <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
    <jps:SI_LocationType.definition>河口を起点とし、上流に向かって一定間隔で配置された杭。
  </jps:SI_LocationType.definition>
    <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001" />
    <jps:SI_LocationType.owner>
      <jps:CI_ResponsibleParty>
        <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
      </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
        <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
      </jps:CI_ResponsibleParty>
    </jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg" />
  </jps:SI_LocationType>
  <jps:SI_LocationType id="LT_RdP">
    <jps:SI_LocationType.name>道路距離標</jps:SI_LocationType.name>
    <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
    <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
    <jps:SI_LocationType.definition>起点から終点に向かって一定間隔で配置されたポスト。
  </jps:SI_LocationType.definition>
    <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001" />
    <jps:SI_LocationType.owner>
      <jps:CI_ResponsibleParty>
        <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
      </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
        <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
      </jps:CI_ResponsibleParty>
    </jps:SI_LocationType.owner>
  </jps:SI_LocationType>

```



```

    </jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
  </jps:SI_LocationType>
  <jps:SI_LocationType id="LT_RivEg">
    <jps:SI_LocationType.name>河川名</jps:SI_LocationType.name>
    <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
    <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
    <jps:SI_LocationType.definition>河川の識別子</jps:SI_LocationType.definition>
    <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
    <jps:SI_LocationType.owner>
      <jps:CI_ResponsibleParty>
        <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
      </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
      <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
    </jps:CI_ResponsibleParty>
  </jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RivP"/>
  <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RivNd"/>
  <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RivFc"/>
  <jps:SI_LocationType.child idref="LT_Office"/>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_Office"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RdEg">
  <jps:SI_LocationType.name>路線名</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>道路の識別子</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
</jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RdP"/>
  <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RdNd"/>
  <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RdFc"/>
  <jps:SI_LocationType.child idref="LT_Office"/>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_Office"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_Fc">
  <jps:SI_LocationType.name>施設</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>ランドマークなど、国土交通しょうが管理していない建物や施設。
</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
</jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RivFc">
  <jps:SI_LocationType.name>河川施設</jps:SI_LocationType.name>

```

```

    <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
    <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
    <jps:SI_LocationType.definition>堤防や堰、ダム等の河川管理施設。</jps:SI_LocationType.definition>
    <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
    <jps:SI_LocationType.owner>
      <jps:CI_ResponsibleParty>
        <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
      </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
      <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
    </jps:CI_ResponsibleParty>
  </jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RivFc">
  <jps:SI_LocationType.name>河川施設</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>堤防や堰、ダム等の河川管理施設。</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
</jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RdFc">
  <jps:SI_LocationType.name>道路施設</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>橋梁やトンネル等の道路管理施設。</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
</jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RdEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RivNd">
  <jps:SI_LocationType.name>河川分合流点</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>本川と支川等の分岐または合流点。</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
</jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RdNd">

```

```

    <jps:SI_LocationType.name>交差点</jps:SI_LocationType.name>
    <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
    <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
    <jps:SI_LocationType.definition>異なる路線が交差する地点</jps:SI_LocationType.definition>
    <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
    <jps:SI_LocationType.owner>
      <jps:CI_ResponsibleParty>
        <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
      </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
      <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
    </jps:CI_ResponsibleParty>
  </jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RdEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_Offce">
  <jps:SI_LocationType.name>事務所管理区域</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>河川，道路又は混合事務所が管理する区域
</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
</jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RdEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_Branch">
  <jps:SI_LocationType.name>出張所管理区域</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>出張所が管理する区域。</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
</jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_Offce"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:EX_GeographicDescription id="geographicExtent001">
  <jps:EX_GeographicDescription.geographicIdentifier>
    <jps:MD_Identifier>
      <jps:MD_Identifier.code>日本国内</jps:MD_Identifier.code>
    </jps:MD_Identifier>
  </jps:EX_GeographicDescription.geographicIdentifier>
</jps:EX_GeographicDescription>
</object>
</dataset>
</GI>

```

6. データ製品配布

本データ辞書(案)に従ったデータの交換の符号化には XML を用いる。符号化仕様は XMLSchema を用いる。

6.1. 配布形式情報

6.1.1. 災害情報データ集合のための符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema targetNamespace="http://www.mlit.go.jp/disaster/schema"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
xmlns:jps="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" xmlns:ds="http://www.mlit.go.jp/disaster/schema"
elementFormDefault="qualified" attributeFormDefault="unqualified">
  <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" schemaLocation="jpsRoot.xsd"/>
  <xs:element name="DisaterInfomationDataset">
    <xs:complexType>
      <xs:sequence maxOccurs="unbounded">
        <xs:element name="validTime" type="jps:ref_TM_Period"/>
        <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
        <xs:element name="type" type="ds:DisasterType"/>
        <xs:element name="area" type="jps:EX_GeographicExtent"/>
        <xs:any namespace="http://www.mlit.go.jp/disaster/schema
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"/>
      </xs:sequence>
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <xs:element name="DisaterInformation" type="ds:DisaterInformation" abstract="true"/>
  <xs:complexType name="DisaterInformation" abstract="true">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="jps:IM_Object">
        <xs:sequence>
          <xs:element name="registant" type="ds:Charge"/>
          <xs:element name="resource" type="ds:Charge" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
          <xs:element name="validTime" type="jps:ref_TM_Period"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DisaterInfoCategory" type="ds:DisaterInfoCategory"/>
  <xs:complexType name="DisaterInfoCategory">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="jps:IM_Object">
        <xs:sequence>
          <xs:element name="category" type="ds:DisaterInfomationCategoryCodeList"/>
          <xs:element name="element" type="ds:ref_DisasterInformation" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DisaterSystem" type="ds:DisaterSystem" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
  <xs:complexType name="DisaterSystem">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
        <xs:sequence>
          <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
          <xs:element name="type" type="jps:CharacterString"/>
          <xs:element name="period" type="jps:ref_TM_Period"/>
          <xs:element name="basis" type="jps:CharacterString"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>

```

```

    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Activity" type="ds:Activity" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="Activity">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="name" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="content" type="jps:CharacterString" maxOccurs="unbounded" />
        <xs:element name="status" type="jps:IM_ObjectReference" />
        <xs:element name="form" type="ds:ref_Form" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Form" type="ds:Form" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="Form">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="name" type="ds:FormatIdentifier" />
        <xs:element name="info" type="ds:ref_DisasterInformation" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Message" type="ds:Message" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="Message">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="sender" type="ds:Charge" />
        <xs:element name="addressee" type="ds:Charge" />
        <xs:element name="sendTime" type="jps:ref_TM_Period" />
        <xs:element name="receiveTime" type="jps:ref_TM_Period" />
        <xs:element name="type" type="ds:MessageType" />
        <xs:element name="contents" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="parent" type="ds:ref_Message" minOccurs="0" />
        <xs:element name="child" type="ds:ref_Message" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
        <xs:element name="request" type="jps:ref_TM_Period" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RequestResource" type="ds:RequestResource"
substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="RequestResource">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="name" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="spec" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="unit" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="quantity" type="jps:Decimal" />
        <xs:element name="send" type="ds:i1101005" minOccurs="0" />
        <xs:element name="message" type="ds:ref_Message" maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Charge">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="org" type="ds:i1101005"/>
    <xs:element name="sec" type="ds:i1101008"/>
    <xs:element name="name" type="ds:i1101009"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="Earthquake" type="ds:Earthquake" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Earthquake">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
        <xs:element name="rank" type="ds:i10010076"/>
        <xs:element name="center" type="jps:CharacterString"/>
        <xs:element name="scale" type="ds:i10070072"/>
        <xs:element name="break" type="jps:ref_TM_Instant"/>
        <xs:element name="depth" type="ds:i10050073"/>
        <xs:element name="tsunami" type="jps:Boolean"/>
        <xs:element name="aftershock" type="ds:ref_Earthquake" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element name="distribution" type="ds:RankDistribution" maxOccurs="unbounded"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RankDistribution" type="ds:RankDistribution" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="RankDistribution">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="rank" type="ds:i10010076"/>
        <xs:element name="point" type="ds:GeographicIdentifier"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="WeatherCondition" type="ds:WeatherCondition"
substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="WeatherCondition">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="point" type="ds:GeographicIdentifier"/>
        <xs:element name="condition" type="ds:i10070001"/>
        <xs:element name="date" type="jps:ref_TM_Instant"/>
        <xs:element name="condition" type="ds:i10070002" minOccurs="0"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Inspection" type="ds:Inspection" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Inspection">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>

```

```

        <xs:element name="type" type="ds:ManageCode" />
        <xs:element name="section" type="ds:ref_InspectionUnit" />
        <xs:element name="result" type="ds:ref_InspectionResult" minOccurs="0" />
    </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="InspectionUnit" type="ds:InspectionUnit" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="InspectionUnit">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="unit" type="ds:Sequence_GeographicIdentifier" />
                <xs:element name="type" type="ds:i10070094" />
                <xs:element name="term" type="jps:ref_TM_Period" minOccurs="0" />
                <xs:element name="info" type="jps:CharacterString" />
                <xs:element name="facilities" type="ds:ref_Facilities" maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="InspectionResult" type="ds:InspectionResult" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="InspectionResult">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="check" type="jps:Boolean" />
                <xs:element name="damages" type="ds:ref_FacilityDamages" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Damage" type="ds:Damage" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="Damage">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="date" type="jps:Boolean" />
                <xs:element name="eyewitness" type="ds:Charge" />
                <xs:element name="site" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
                <xs:element name="name" type="jps:CharacterString" />
                <xs:element name="contents" type="ds:i10070038" />
                <xs:element name="facilities" type="ds:ref_Facilities" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="DamagesOfGOB" type="ds:DamagesOfGOB" substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="DamagesOfGOB">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Damage">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="scale" type="ds:DamageScale" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

<xs:element name="FacilityDamages" type="ds:FacilityDamages" substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="FacilityDamages">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Damage">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="human" type="jps:Boolean" />
        <xs:element name="traffic" type="jps:Boolean" />
        <xs:element name="scale" type="ds:DamageScale" />
        <xs:element name="segment" type="ds:Segment" />
        <xs:element name="inspection" type="ds:ref_Inspection" minOccurs="0" />
        <xs:element name="trafficRestriction" type="ds:ref_TrafficRestriction" minOccurs="0" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="TrafficRestriction" type="ds:TrafficRestriction" substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="TrafficRestriction">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Damage">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="segment" type="ds:Segment" />
        <xs:element name="period" type="jps:ref_TM_Period" />
        <xs:element name="contents" type="ds:i10070054" />
        <xs:element name="segment" type="ds:Segment" />
        <xs:element name="map" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
        <xs:element name="damage" type="ds:ref_FacilityDamages" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="FacilityDamageDetails" type="ds:FacilityDamageDetails"
substitutionGroup="ds:FacilityDamages" />
<xs:complexType name="FacilityDamageDetails">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:FacilityDamages">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="urgent" type="jps:Boolean" />
        <xs:element name="details" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="plan" type="ds:ref_EmergencyPlan" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="ObservatoryDamages" type="ds:ObservatoryDamages" substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="ObservatoryDamages">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Damage" />
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="ConstructionSiteDamages" type="ds:ConstructionSiteDamages"
substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="ConstructionSiteDamages">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Damage">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="evacuee" type="jps:Integer" />
        <xs:element name="injured" type="jps:Integer" />

```



```

        <xs:element name="missing" type="jps:Integer" />
        <xs:element name="scale" type="ds:DamageScale" />
    </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="EmergencyPlan" type="ds:EmergencyPlan" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="EmergencyPlan">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="segment" type="ds:Segment" />
                <xs:element name="plan" type="ds:i10070041" />
                <xs:element name="confirmation" type="ds:EntryStatus" />
                <xs:element name="damages" type="ds:ref_FacilityDamageDetails" maxOccurs="unbounded" />
                <xs:element name="repairs" type="ds:ref_EmergencyRepairs" maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="EmergencyRepairs" type="ds:EmergencyRepairs"
substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="EmergencyRepairs">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="period" type="jps:ref_TM_Period" />
                <xs:element name="status" type="ds:i10070093" />
                <xs:element name="contents" type="ds:i10070041" minOccurs="0" />
                <xs:element name="plan" type="ds:ref_EmergencyPlan" />
                <xs:element name="confirmation" type="ds:EntryStatus" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Facilities" type="ds:Facilities" abstract="true" substitutionGroup="jps:IM_Object" />
<xs:complexType name="Facilities" abstract="true">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jps:IM_Object">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="name" type="jps:CharacterString" />
                <xs:element name="location" type="ds:Segment" />
                <xs:element name="details" type="ds:ref_FacilityDetails" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RoadFacilities" type="ds:RoadFacilities" substitutionGroup="ds:Facilities" />
<xs:complexType name="RoadFacilities">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Facilities">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="type" type="ds:i10040035" />
                <xs:element name="manage" type="ds:Shisetsukanrikubun" />
                <xs:element name="emergencyType" type="jps:CharacterString" />
                <xs:element name="section" type="ds:ref_Disaster-preventionSection" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RiverFacilities" type="ds:RiverFacilities" substitutionGroup="ds:Facilities" />
<xs:complexType name="RiverFacilities">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Facilities">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="type" type="ds:Kasenkozobutsushubetsu" />
        <xs:element name="manage" type="ds:Shisetsukanrikubun" />
        <xs:element name="section" type="ds:ref_Disaster-preventionSection" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Bank" type="ds:Bank" substitutionGroup="ds:RiverFacilities" />
<xs:complexType name="Bank">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:RiverFacilities">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="type" type="jps:Boolean" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Constructions" type="ds:Constructions" substitutionGroup="ds:Facilities" />
<xs:complexType name="Constructions">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Facilities">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="name" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="workers" type="jps:Integer" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Observatory" type="ds:Observatory" substitutionGroup="ds:Facilities" />
<xs:complexType name="Observatory">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Facilities">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="type" type="ds:i1210001" />
        <xs:element name="subject" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="info" type="ds:ref_ObservatoryData" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="GovenmentOfficeBuilding" type="ds:GovenmentOfficeBuilding"
substitutionGroup="ds:Facilities" />
<xs:complexType name="GovenmentOfficeBuilding">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Facilities">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="address" type="ds:GeographicIdentifier" />
        <xs:element name="structure" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="area" type="jps:Decimal" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Disaster-preventionFacility" type="ds:Disaster-preventionFacility"
substitutionGroup="ds:Facilities"/>
<xs:complexType name="Disaster-preventionFacility">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Facilities">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="type" type="jps:CharacterString"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Disaster-preventionSection" type="ds:Disaster-preventionSection"
substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Disaster-preventionSection">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="section" type="ds:GeographicIdentifier"/>
        <xs:element name="type" type="jps:CharacterString"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="HazardMap" type="ds:HazardMap" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="HazardMap">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:DisaterInformation"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Segment">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="start" type="ds:GeographicIdentifier"/>
    <xs:element name="end" type="ds:GeographicIdentifier" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:simpleType name="DisasterType">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
    <xs:enumeration value="4"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="DamageScale">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
    <xs:enumeration value="4"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="DisaterInfomationCategoryCodeList">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>

```

```

        <xs:enumeration value="4"/>
        <xs:enumeration value="5"/>
        <xs:enumeration value="6"/>
        <xs:enumeration value="7"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="FormatIdentifier">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="MessageType">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
        <xs:enumeration value="4"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="ManageCode">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="EntryStatus">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="GeographicIdentifier">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="Sequence_GeographicIdentifier">
    <xs:list itemType="ds:GeographicIdentifier"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i1101005">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i1101008">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i1101009">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10010076">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070072">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10050073">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070002">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070001">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>

```

```

</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070094">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070054">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070038">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070041">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070093">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10040035">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i12100001">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="Shisetsukanrikubun">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="Kasenkozobutsushubetsu">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:complexType name="ref_DisasterInformation">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Form">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Message">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Earthquake">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Inspection">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_InspectionUnit">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_InspectionResult">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Facilities">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_FacilityDamages">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_FacilityDamageDetails">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_EmergencyRepairs">

```

```

    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_EmergencyPlan">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_Observatory">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_ObservatoryData">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_Constructions">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_FacilityDetails">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_TrafficRestriction">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_EmergencyPlan">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_Disaster-preventionSection">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
</xs:schema>

```

6.2. 配布媒体情報

データ集合及びメタデータを格納する媒体は、本データ辞書では規定しない。データ提供者・利用者間で協議の上決定するものとする。

7. メタデータ

災害情報データ辞書(案)のメタデータは「JMP2.0」を採用する。

附属書1 災害情報データ辞書(案) 拡張規則

1. 本附属書の位置づけ

災害対応時には様々な情報が必要となるが、情報を扱う人あるいはシステム間での定義が異なるため相互流通を阻害する一因となっている。そこで、国土交通省内における災害対応業務において必要となる情報(災害情報)の流通性を高めるために、必要な情報を整理し、相互理解が可能な仕様として災害情報データ辞書(案)(以下本データ辞書(案))の策定を行った。

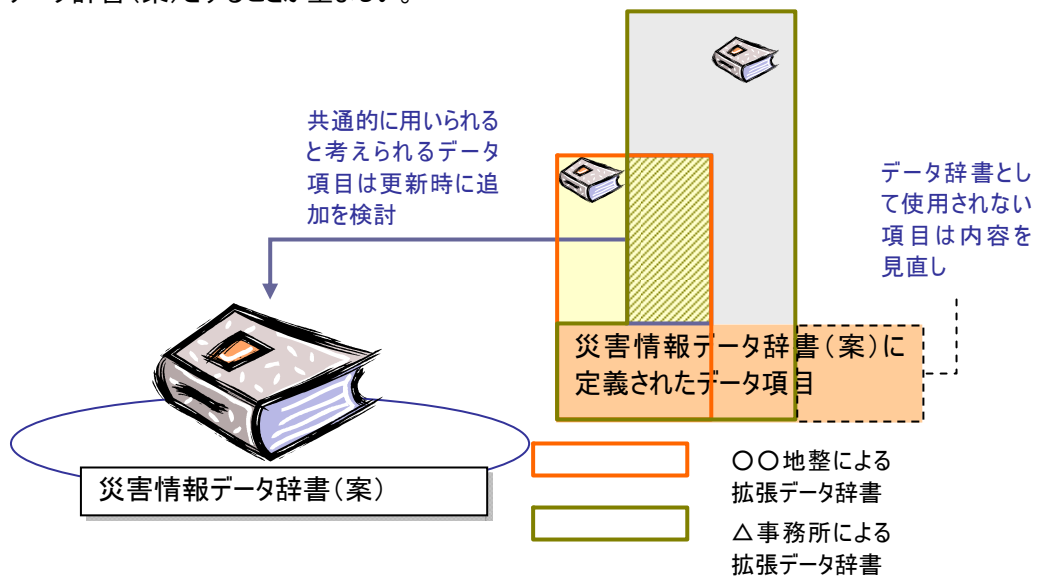
本データ辞書(案)は汎用的な利用を想定しデータ項目の定義を行っている。実際の災害対応においては地域特性等を考慮した特化したデータが必要な場合があるため、本データ辞書(案)の項目では不足する場合も考えられる。しかしながら各地方整備局や事務所が独自に本データ辞書(案)の拡張を行った場合、当初の目的である災害情報の流通性確保が困難となる。

そこで本データ辞書(案)の拡張に一定の規則をもうけ、拡張を行いたい場合にはこの規則に則り本データ辞書(案)の拡張を行うことを本付属書で規定するとともに「拡張のための規則」について規定する。

本データ辞書(案)においては汎用的な利用を想定しデータ項目の定義を行っている。実際の災害対応においては地域特性等を考慮した特化したデータが必要な場合があるため、データ辞書(案)の項目では不足する場合も想定される。その場合は本データ辞書を拡張し、データの定義を行うことができる。ただし、データの追加を行う場合には、本書付属書に示す拡張規則に従わなければならない。

これにより実用性を高めるとともに、相互流通性を担保することも可能となる。

将来的には、拡張規則に従ったデータ辞書の作成に合わせて見直しをかけ、汎用的なデータとして定義することが望ましいデータについてはデータ辞書(案)のデータ項目として更新することにより、実業務に則した使いやすいデータ辞書(案)とすることが望ましい。



なお、本データ辞書(案)の定義が詳細であるため使用に制限を行いたい場合を想定し、「制限のための規則」についても本付属書で規定する。

2. 拡張のための規則

本データ辞書(案)で定義したスキーマ(データの内容及び構造)は、以下の規則に則り拡張することができる。

規則 1 データの構造の拡張について

- ・ 新規にデータの型を追加したい場合は、本データ辞書(案)に定義されたいずれかの型から当該情報が属すると考えられる型を上位の型とし、継承により定義する。
- ・ 既にある型に対して属性の追加や関連の追加を行いたい場合は、既にある型を継承させた新しい型を作成し、追加を行う。

規則 2 文書作成について

- ・ 規則 1 に従い、データの構造及び内容を更新する場合にはかならずデータ構造とその定義文書を作成しなければならない。
- ・ データ構造は拡張せず、属性値のみの拡張を行う場合も定義文書を作成しなければならない。
- ・ データ構造及び定義文書は、本データ辞書(案)5章に示す書式に従うこと。

規則 3 符号化規則作成について

- ・ 属性の追加や関連の追加を行った場合には JPGIS 附属書 8 に示される変換規則に従い符号化規則を作成しなければならない。
- ・ 符号化規則を作成する場合は、元となる本データ辞書(案)6.1 に示す XMLSchema の要素及び型定義を拡張し作成しなければならない。

規則 4 データ辞書公開について

- ・ 本データ辞書(案)を拡張し、データ辞書を作成した場合には、作成したデータ辞書を公開しなければならない。
- ・ 本データ辞書(案)を拡張し、データ辞書を作成した場合には、本データ辞書(案)の問合せ先に通知しなければならない。

規則5 データ辞書拡張の制限について

- ・ 既に同等の拡張が他のデータ辞書において定義されている場合には可能な限りこれを採用する。

3.制限のための規則

本データ辞書(案)で定義したスキーマ(データの内容及び構造)は、以下の規則に則り制限することができる。

規則 1 データの構造及び内容の制限について

- ・ 本データ辞書(案)の一部を制限して使用する場合は、本データ辞書(案)に示されたデータ構造の修正は行わず、定義文書のその他欄に制限の内容を明記し対応することとする。

附属書 2 他のデータ辞書からの引用

1. 本附属書の位置づけ

本附属書は、災害情報データ辞書(案)で引用する他のデータ辞書の定義を記すものである。なお、データ辞書(案)において引用する部分のみをプロファイルするものであり、全体を示すものではない。

2. JPGIS (Japan Profile for Geographic Information Standards) 第 1.0 版

本章は、災害情報データ辞書(案)において JPGIS から引用する要素についてその定義を示す。
 なお JPGIS 全体については別添 2 JPGIS に示す。

2.1. 空間スキーマ

本データ辞書案において、直接的に空間スキーマの型を使用しないが、使用する他のスキーマの記述(例: SI_LocationInstance の属性 position の型として GM_Point を用いる)に必要となるため、これらの間接的に使用する型のみをここで示す。

2.1.1. GM_Object

データ要素名	GM_Object	
タグ名称	GM_Object	
クラス図	<pre> classDiagram class GM_Object["<<Type>> GM_Object"] class RS_CRS["<<Type>> RS_CRS (from Reference System)"] GM_Object --> RS_CRS : Coordinate Reference System +CRS RS_CRS "0..1" </pre>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	抽象	
定義	全ての幾何オブジェクトの基底型	
役割	名称	CRS
	タグ名称	CRS
	定義	Coordinate Reference System 関連によって、この GM_Object と DirectPosition の座標に用いる座標参照系をつなげる。
	型	RS_CRS
	多重度	0..1
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		

2.1.2. GM_Point

データ要素名	GM_Point	
タグ名称	GM_Point	
クラス図	<pre> classDiagram class GM_Point["<<Type>> GM_Point"] GM_Point --> DirectPosition : + position : DirectPosition </pre>	
上位型	GM_Primitive	
抽象・具象区分	具象	
定義	ただ一つの点からなる幾何オブジェクトを表す基本的なデータ型	
属性	名称	position
	タグ名称	position
	定義	GM_Point がもつ位置となる座標値
	型	DirectPosition
	定義域	1
	多重度	1
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		

2.1.3.DirectPosition

データ要素名	DirectPosition	
タグ名称	DirectPosition	
クラス図	<pre> classDiagram class DirectPosition { <<DataType>> coordinate : Sequence<Number> dimension : Integer } class RS_CRS { <<Type>> RS_CRS (from Reference System) } class CoordinateReferenceSystem { +CoordinateReferenceSystem } DirectPosition -- > RS_CRS : 0..1 +directPosition DirectPosition -- CoordinateReferenceSystem : 0..n +CoordinateReferenceSystem </pre> <p>RS_CRSによって参照する座標参照系の次元数と属性dimensionの値が一致しなければならない</p> <p>対象となるDirectPositionが参照系への参照をもつ、より大きなオブジェクトに含まれている場合は空のままとしてよい</p>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	ある座標参照系上の位置	
属性	名称	coordinate
	タグ名称	coordinate
	定義	指定した参照系におけるこの位置の座標を保持する数値(Number)の列
	型	Sequence<Number>
	定義域	座標参照系に従う
	多重度	1
	順序	あり
属性	名称	dimension
	タグ名称	dimension
	定義	座標列の長さ(項数)。これは参照系によって決まり、省略することが可能である。
	型	Integer
	定義域	座標参照系に従う
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	coordinateReferenceSystem
	タグ名称	coordinateReferenceSystem
	定義	役割名 coordinateReferenceSystem によって、RS_CRS と、この DirectPosition は任意に関連付く。対象となる DirectPosition が参照系への参照をもつ、より大きなオブジェクトに含まれている場合は空のままとしてよい。
	型	RS_CRS
	多重度	0..1
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		

2.2.時間スキーマ

本データ辞書(案)においては、瞬間を示す TM_Instantと期間を示す TM_Periodを用いる。またそれらを作成するために必要となる TM_Position 及び時間位置を記述する型について記述する。

2.2.1.TM_Instant

データ要素名		TM_Instant			
	タグ名称	TM_Instant			
クラス図		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">TM_Instant</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">position : TM_Position</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>	TM_Instant	position : TM_Position	
TM_Instant					
position : TM_Position					
上位型		TM_Primitive			
抽象・具象区分		具象			
定義		瞬間(TM_Instant)は、零次元幾何プリミティブであり、時間上の位置を表現する。これは空間における点と同等である。実際には、瞬間は時間間隔であるが、その持続時間は時間尺度の分解能より短い。			
属性	名称	position			
	タグ名称	position			
	定義	TM_Instant の位置			
	型	TM_Position			
	定義域	座標参照系に従う			
	多重度	1			
	順序	なし			
役割	名称	begunBy			
	タグ名称	begunBy			
	定義	Beginning 関連は、期間を示す TM_Period(端点 begunBy の先につながる)と、この TM_Instant とを関連付ける。			
	型	TM_Period			
	多重度	0..*			
	順序	なし			
役割	名称	endedBy			
	タグ名称	endedBy			
	定義	Ending 関連は、期間を示す TM_Period(端点 endedBy の先につながる)と、この TM_Instant とを関連付ける。			
	型	TM_Period			
	多重度	0..*			
	順序	なし			
引用元		JPGIS			
その他					

2.2.2.TM_Period

データ要素名	TM_Period	
タグ名称	TM_Period	
クラス図	<pre> classDiagram class TM_Instant { position : TM_Position } class TM_Period TM_Instant "1" -- "0..*" TM_Period : Beginning (+begin, +begunBy) TM_Instant "1" -- "0..*" TM_Period : Ending (+end, +endedBy) note for TM_Period "Ending" : {self.begin.position < self.end.position} </pre>	
上位型	TM_Primitive	
抽象・具象区分	具象	
定義	<p>期間(TM_Period)は、時間の範囲を表現する一次元幾何プリミティブとする。期間は空間における曲線と同等であり、曲線のように、始点及び終点(瞬間)を境界にもつ区間をなし、長さ(持続時間)をもつ。その時間上の位置は、それが始まる瞬間及び終わる瞬間の時間位置によって記述し、その長さは二つの時間位置間の時間距離に等しい。</p> <p>{self.begin.position < self.end.position}は、期間開始の時間位置が期間終了の時間位置よりも小さく(より以前に)なければならないことを示す。</p>	
役割	名称	begin
	タグ名称	begin
	定義	Beginning 関連は、期間開始位置を示す TM_Instant (端点 begin の先につながる)と、この TM_Period を関連付ける。
	型	TM_Period
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	end
	タグ名称	end
	定義	Ending 関連は、期間開始位置を示す TM_Instant (端点 end の先につながる)と、この TM_Period を関連付ける。
	型	TM_Period
	多重度	0..*
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		

2.2.3.TM_Position

データ要素名	TM_Position	
タグ名称	TM_Position	
クラス図	<pre> classDiagram class TM_Position { <<Union>> anyOther : TM_TemporalPosition date8601 : Date time8601 : Time dateTime8601 : DateTime } </pre>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	<p>TM_Position は、その属性となる四つのデータ型のうち唯一を選択する共用体である。Date, Time, DateTime は、ISO/TS 19103 で定義している基本的なデ</p>	

	一タ型とする。これらは、日付及び時刻を文字列として符号化する JIS X 0301 に適合する。これらのデータ型は、グレゴリオ暦及び協定世界時を参照する時間位置を記述するために使用してもよい。TM_TemporalPosition 及びその下位型は、これ以外の時間参照系を参照する時間位置を記述するために使用しなければならない。
引用元	JPGIS
その他	

2.2.4.TM_TemporalPosition

データ要素名	TM_TemporalPosition	
タグ名称	TM_TemporalPosition	
クラス図	<pre> classDiagram class TM_TemporalPosition { indeterminatePosition[0..1] TM_IndeterminateValue } </pre>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	TM_TemporalPosition は、RS_CRS との関連及び属性 indeterminatePosition をもち、二つの下位クラスが存在する。	
属性	名称	indeterminatePosition
	タグ名称	indeterminatePosition
	定義	不確定位置。不明(unknown), 以前(before), 以後(after), 現在(now)のいずれかをとる。
	型	TM_IndeterminateValue
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	frame
	タグ名称	frame
	定義	TM_TemporalPosition を RS_CRS(端点 frame の先につながる)に接続する。この関連は、インスタンスレベルで明示する必要はない。特に指示がない場合には、TM_TemporalPosition は、グレゴリオ暦と協定世界時との関連を指す。また、この関連は、地物カタログの属性型定義、又はデータ集合のためのメタデータで識別することもできる。
	型	RS_CRS
	多重度	0..1
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		

2.2.5.TM_Caldate

データ要素名	TM_CalDate
タグ名称	TM_CalDate
クラス図	<pre> classDiagram class TM_CalDate { calDate : Sequence<Integer> calendarEraName : CharacterString } </pre>
上位型	TM_TemporalPosition
抽象・具象区分	具象
定義	ある暦の中で特定した時間位置を表すために使用しなければならないデータ型

属性	名称	calDate
	タグ名称	calDate
	定義	正の整数の列で、最初の整数は、暦における階層の最上位レベルで使う単位の特定の値を示す。二番目の整数は、暦における階層の二番目のレベルで使う単位の特定の値を示し、以下同様に続く。JIS X 0301 で定義しているグレゴリオ暦における日付を示すための形式は、年、月、日の値によって構成するあらゆる日付を示すために使用してもよい。
	型	Sequence<Integer>
	多重度	1
	順序	あり
属性	名称	calendarEraName
	タグ名称	calendarEraName
	定義	日付が参照する暦年代の名称
	型	CharacterString
	多重度	1
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		

2.2.6.TM_ClockTime

データ要素名	TM_ClockTime		
タグ名称	TM_ClockTime		
クラス図	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"> <<DataType>> TM_DateAndTime clkTime : Sequence<Number> </td> </tr> </table>		<<DataType>> TM_DateAndTime clkTime : Sequence<Number>
<<DataType>> TM_DateAndTime clkTime : Sequence<Number>			
上位型	TM_CalDate		
抽象・具象区分	具象		
定義	一日よりも短い分解能で時間位置を識別するために、TM_CalDate を継承し、かつ時刻を示す属性をもつデータ型		
属性	名称	clkTime	
	タグ名称	clkTime	
	定義	calDate と類似した構造の正数の列を規定する。最初の正数は、時計の階層の中で最上位レベルに使う単位の特定の値を示し、二番目の数は二番目のレベルに使う単位の特定の値を示し、以下、同様に続く。最後の数以外は整数でなければならない、最後の数は整数又は実数のいずれでもよい。	
	型	Sequence<Number>	
	多重度	1	
	順序	あり	
引用元	JPGIS		
その他			

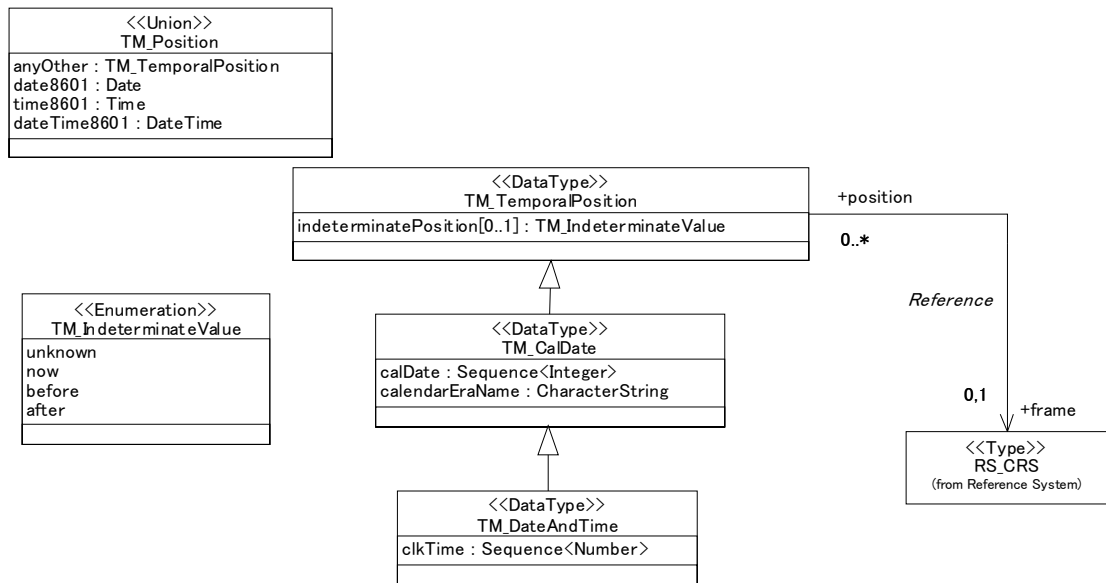


図 16 時間スキーマ 時間位置

2.3.地理識別子による空間参照

本項では地理識別子を記述するために使用する型の定義を示す。

2.3.1.SI_Gazetteer

データ要素名	SI_Gazetteer	
タグ名称	SI_Gazetteer	
クラス図	<pre> classDiagram class SI_Gazetteer { name : CharacterString scope[0..1] : CharacterString territoryOfUse : EX_GeographicExtent custodian : CI_ResponsibleParty coordinateSystem[0..1] : RS_CRs } </pre>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	地名辞典(SI_Gazetteer)は、空間参照系のなかにある場所型を参照する場所インスタンスの要覧とする。場所インスタンスが作成又は廃止されたときや、場所インスタンスの新しいバージョンが作成されたときは、地名辞典の新しいバージョンを作成しなければならない。	
属性	名称	名前
	タグ名称	name
	定義	地名辞典の名前
	型	CharacterString
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	適用範囲
	タグ名称	scope
	定義	地名辞典に含まれた場所型について記述する
	型	CharacterString

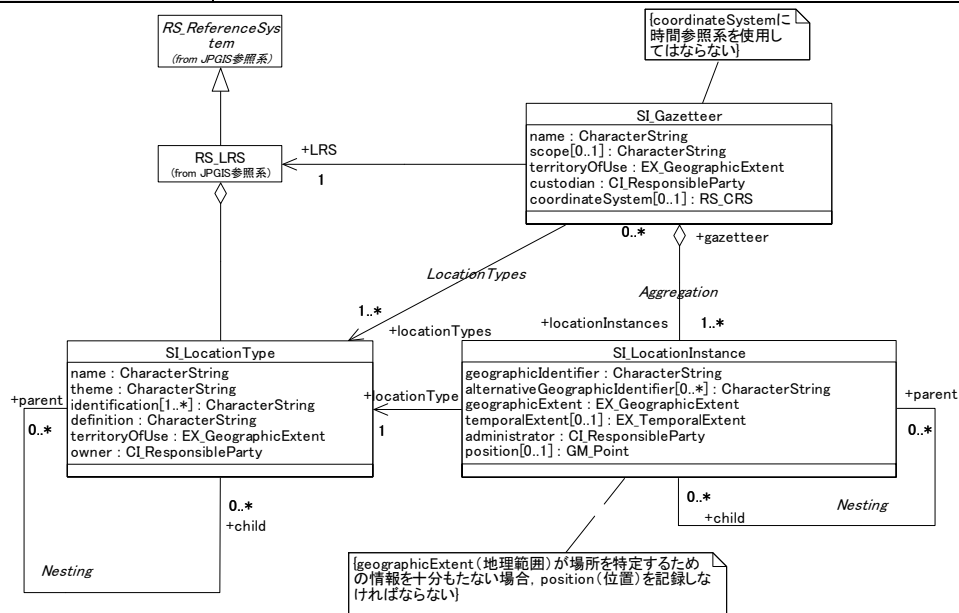
	多重度	0..1
	順序	なし
属性	名称	使用領域
	タグ名称	territoryOfUse
	定義	地名辞典の収録地域
	型	EX_GeographicExtent
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	責任者
	タグ名称	custodian
	定義	地名辞典のメンテナンスに責任がある組織の名称
	型	CI_ResponsibleParty
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	座標参照系
	タグ名称	coordinateSystem
	定義	地名辞典の中で位置を記述するために使われる座標系の名前
	型	CharacterString
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	locationInstances
	タグ名称	locationInstances
	定義	Aggregation 関連は、この SI_Gazetteer と SI_LocationInstance とを関連付ける集成であり、SI_Gazetteer は一つ以上の SI_LocationInstance で構成しなければならない。
	型	SI_LocationInstance
	多重度	1..*
	順序	なし
役割	名称	locationTypes
	タグ名称	locationTypes
	定義	LocationTypes 関連は、この SI_Gazetteer を SI_LocationType に関連付ける。SI_Gazetteer は一つ以上の SI_LocationType を参照しなければならない。
	型	SI_LocationType
	多重度	1..*
	順序	なし
引用元		JPGIS
その他		

2.3.2.SI_LocationInstance

データ要素名	SI_LocationInstance
タグ名称	SI_LocationInstance

クラス図		
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	<p>場所インスタンス(SI_LocationInstance)は、空間参照系のなかにある場所型を参照するインスタンスである。いずれかの属性が変化した場合、SI_LocationInstance の新しいインスタンスを生成しなければならない。ただし、この場合は、属性 temporalExtent を記述しなければならない。SI_LocationInstance の変化の例としては、境界変更によって地方自治体の行政区域が変わったときがある。</p>	
属性	名称	地理識別子
	タグ名称	geographicIdentifier
	定義	地名辞典の中で一意となるインスタンスの識別子
	型	CharacterString
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	代替地理識別子
	タグ名称	alternativeGeographicIdentifier
	定義	geographicIdentifier で記述した以外の、この場所インスタンスに対する別の地理識別子を記述する
	型	CharacterString
	多重度	0..*
	順序	なし
属性	名称	地理範囲
	タグ名称	geographicExtent
	定義	場所インスタンスの範囲。多角形、矩形あるいは自由記述のいずれかの方法を用いる。
	型	EX_GeographicExtent
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	時間範囲
	タグ名称	temporalExtent
	定義	場所インスタンスの存続期間
	型	EX_TemporalExtent
	多重度	0..1
	順序	なし
属性	名称	管理者
	タグ名称	administrator
	定義	場所インスタンスの特性を定義する責任がある組織の名前
	型	CI_ResponsibleParty
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	位置

	タグ名称	position
	定義	場所インスタンスの代表点の座標
	型	GM_Point
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	parent
	タグ名称	parent
	定義	Nesting 関連は、この SI_LocationInstance をその一部分である他の SI_LocationInstance (端点 parent の先につながる)、又はこの SI_LocationInstance を細分化する他の SI_LocationInstance (端点 child の先につながる)に関連付ける。
	型	SI_LocationInstance
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	child
	タグ名称	child
	定義	Nesting 関連は、この SI_LocationInstance をその一部分である他の SI_LocationInstance (端点 parent の先につながる)、又はこの SI_LocationInstance を細分化する他の SI_LocationInstance (端点 child の先につながる)に関連付ける。
	型	SI_LocationInstance
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	locationType
	タグ名称	locationType
	定義	LocationType 関連役割は、この SI_LocationInstance を SI_LocationType に関連付ける。SI_LocationInstance は SI_LocationType を参照しなければならない。
	型	SI_LocationType
	多重度	1
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		



3. 各分野の標準仕様

3.1.道路通信標準(Ver1.05)データディクショナリ編

本章では、災害情報データ辞書(案)で引用する道路通信標準に定義された型を示す。なお、データ辞書(案)において引用する部分のみをプロファイルするものであり、全体を示すものではない。

型名	データ ID	概略
機関名称	11010005	機関の名称を記述するための型
関連部署名	11010008	部署の名称を記述するための型
担当氏名	11010009	氏名を記述するための型
路線名	10020002	路線名を記述するための型
路線方向	10020007	路線方向を記述するための型
国土交通省路線毎 KP	10010014	道路距離標を記述するための型
規制内容	10070054	交通規制の内容を記述する型
気象形態	10070001	気象状態を記述するための型
気象状態予測	10070002	気象状態の予測内容を記述するための型
構造物種別	10040035	道路施設の種別を記述するための型
運営主体住所	11010010	住所を記述するための型
運営主体電話番号	11010011	電話番号を記述するための型
運営主体 FAX 番号	11010012	FAX 番号を記述するための型
運営主体 Email アドレス	11010013	Email アドレスを記述するための型
地整体制コード	10070084	機関の体制を記述するための型
震度	10070076	震度を記述するための型
震源規模	10070072	マグニチュードを記述するための型
震源深さ	10050073	震源の深さを記述するための型
渋滞状況	10070070	渋滞の程度を記述するための型
1 時間交通量	10050007	1 時間の交通量を記述するための型
災害の概略	10070038	災害の概要を記述するための型
復旧概要	10070041	復旧概要を記述するための型
応急復旧状況	10070093	応急復旧の状況を記述するための型
センサ種別	12100001	観測機器の種別を記述するための型
道路被害状況	10070023 ~ 10070031	道路被害の内容を記述するための型

・ 機関名称

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 運営主体情報/機関名称 organizationAgencyName (2)DE識別コード 11010005
2. データ定義	(1)定義 道路管理者の機関の名称を示す。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(20)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等)

	<p>○ 九州地方建設局災害対応システム</p> <p>管理機関名 情報提供先機関名 (2)データ定義内容 道路管理者の機関の名称を示す。 (3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 ・次のシステムのデータ項目を共通化した。 ○ 関東地方整備局画像交換システム 機関名称 UTF8string(20) ・データ型を「OCTET STRING K(20)」から「UTF8string(20)」に変更した。</p> <p>Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム ○ 関東地方整備局画像情報交換システム</p> <p>Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「UTF8string(20)」から「UTF8String(size(20))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「(20)」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「(20)」から「-」へ変更した。</p>
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 関連部署名

1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 運営主体情報/関連部署コード organizationDivisionCode (2)DE識別コード 11010007</p>
2. データ定義	<p>(1)定義 道路管理者の関連する部署をコードで示す。 各道路管理者が定める関連部署のコード体系に従う。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) INTEGER(0..9999) ②内部表現形式(データフォーマット) 9999 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..9999 ④データ単位</p>
3. 登録ステータス	<p>1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/03/15</p>
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 管理機関部署 (2)データ定義内容 道路管理者の関連する部署をコードで示す。 (3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法</p>

	(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「INTEGER」から「INTEGER(0..9999)」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「-」から「9999」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「-」から「0.9999」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 担当氏名

1. DE名称	1)クラス名/DE名(ASN.1name) 運営主体情報/担当氏名 organizationPersonName (2)DE識別コード 11010009
2. データ定義	(1)定義 関連する担当者の氏名を示す。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(20)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 情報収集道路管理者氏名 ○ 関東地方建設局特車行政手続き対応 申請者担当者_漢字名 VARCHAR2(80) (2)データ定義内容 関連する担当者の氏名を示す。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」

	<p>へ変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(20)」から「UTF8String(size(20))」へ変更した。 内部表現形式(データフォーマット)を「K(20)」から「-」へ変更した。 データ表現形式(実際の数値表現)を「K(20)」から「-」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 路線名

1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 道路・網情報/路線名 roadRouteName (2)DE識別コード 10020002</p>
2. データ定義	<p>(1)定義 有料道路系路線及び一般道系路線の路線名称を、フリーテキストにより示す。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(120)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.6</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2005/07/01</p>
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 特車管理情報(H10年度道路通信標準における検討成果) 路線の名称を示す。 (2)データ定義内容 有料道路系路線及び一般道系路線の路線名称を、フリーテキストにより示す。 (3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.02 2000/01/31 (1)変更内容 ・定義内容を以下のように変更した。 「公団路線及び一般道路の路線名称を、フリーテキストにより示す。」 (2)その他(変更時の検討内容など) ・DD グループによる定義の充足</p> <p>Ver0.03 2000/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の展開ガイドラインの情報項目を共通化した。 ○ 九州地方建設局災害対応システム 観測端末設置路線名 ○ 東北地方建設局道路関連情報事前提供システム 路線名 ○ 四国地方建設局道路関連情報事前提供システム 路線名 ○ 関東地方建設局特車行政手続き対応 最上位の路線名称 VARCHAR2(80)</p> <p>Ver0.03 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項</p>

	<p>目を共通化した。</p> <p>○中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部表現形式(データ型)の設定方針の統一を図るため、「OCTET STRING」から「UTF8String(size(80))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(80)」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(80)」から「-」へ変更した。 <p>Ver0.6 2005/07/01 (1)変更内容</p> <p>日本道路公団民営化による組織変更への対応と、登録可能な路線名を拡張するため以下の変更を行った。</p> <p>定義を「公団路線及び一般道路の路線名称を、フリーテキストにより示す。」から「有料道路系路線及び一般道系路線の路線名称を、フリーテキストにより示す。」に変更した。外部表現形式を「UTF8String(size(80))」から「UTF8String(size(120))」に変更した。</p>
9. 関連DS	<ul style="list-style-type: none"> ・00000 共通 DS_02000 位置情報 DS_02200 区間位置 DS_02203 スパン DS ・00000 共通 DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 DS_02111 有料道路路線の管理系 KPDS ・00000 共通 DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 DS_02112 国土交通省路線の管理系 KPDS ・00000 共通 DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 DS_02116 自治体等管理路線の管理系 KPDS

・ 路線方向

1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 道路・網情報/路線方向 roadRouteDirectionCode (2)DE識別コード 10020007</p>
2. データ定義	<p>(1)定義 車線の通行方向を表すコード。 {詳細なし(0),方向無関係(上下、東西、南北線)(1),上り(2),下り(3),内回り(4),外回り(5),上り(内回り)(6),下り(外回り)(7),上下(8),東行き(9),西行き(10),北行き(11),南行き(12),両方行(13),上り別線(14),下り別線(15),上り左(16),下り左(17),上り右(18),下り右(19),上り両ルート(20),下り両ルート(21),内回り左(22),外回り左(23),内回り右(24),外回り右(25),無効データ(97),その他(98),不明(99)}</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), upInbound(6), downOutbound(7), updown(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboundLeft(22), outboundLeft(23), inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97), other(98), unknown(99)}</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 99</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) 0..99</p> <p>④データ単位</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.61</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2005/07/27</p>
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ JH東京第一管理局交通管制システム</p>

	<p>○ JH東京第二管理局交通管制システム 方向 01:上り, 02:下り, 03:内周り, 04:外回り, 05:東行き, 06:西行き, 07:南行き, 08:北行き, 09:方向無関係(上下、東西、南北線), 10:上り別線, 11:下り別線, 12:上り左, 13:下り左, 14:上り右, 15:下り右, 16:上り両ルート, 17:下り両ルート, 18:内回り左, 19:外回り左, 20:内回り右, 21:外回り右, 99:その他交通情報交換インターフェース基準仕様書</p> <p>○ 首都公団交通管制システム 方向 1:内回, 2:外回, 3:上り, 4:下り, 5:東行, 6:西行, -1:不明 首都公団交通管制システムインターフェース仕様書</p> <p>○ 関東地建道路交通情報システム関連 路線方向 1:上り, 2:下り, 3:内回り, 4:外回り, 5:東行き, 6:西行き, 7:北行き, 8:南行き, 9:両方向, 15:情報なし 関東地建 VICS 仕様書</p> <p>○ その他 道路管理に関するシステムタスクフォース(H10年度道路通信標準における検討成果) 特車管理情報(H10年度道路通信標準における検討成果) インテリジェント情報板情報(H10年度道路通信標準における検討成果) コード定義(コード名称:路線路線方向) 上り下り (2)データ定義内容 ある断面における車道の方向を示すコード。 (3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.02 2000/01/06 (1)変更内容 ・以下の定義に変更した。 「車線の通行方向を表すコード。」 (2)その他(変更時の検討内容など)</p> <p>Ver0.03 2000/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の展開ガイドラインの情報項目を共通化した。</p> <p>○ 九州地方建設局災害対応システム 観測端末の道路延長上の方向</p> <p>○ 東北地方建設局道路関連情報事前提供システム 観測位置</p> <p>○ 四国地方建設局道路関連情報事前提供システム 観測位置</p> <p>○ 北海道開発局他主体接続システム 上下区分{上り線(1)、下り線(2)}</p> <p>○ 北海道開発局寒冷地用AHSシステム 観測位置</p> <p>○ 北陸地方建設局道路行政支援システム 上下区分{上り線(1)、下り線(2)}</p> <p>Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 ・無効データの設定 ・次のシステムのデータを共通化した。</p> <p>○ 関東地方整備局画像交換システム 路線方向</p> <p>Ver0.10 2001/03/15</p>

	<p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 <p>○栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○中部地方整備局東海道路災害情報共有システム</p> <p>Ver0.20 2002/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部表現形式(データ型)を「ENUMERATED{none(0), national-h(1), city-h(2), pricing(3), exclusive(4), national(5), local-pref(6), local(7), pref(8), city(9), invalidData(97),other(98), unknown(99)}」から「ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), up(inbound)(6), down(outbound)(7), updown,(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboundLeft(22), outboundLeft(23), inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)}」へ変更した。 <p>Ver1.02 2003/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部表現形式(データ型)を「ENUMERATED{none(0),noDirection(1),up(2),down(3),inbound(4),outbound(5),up(inbound)(6),down(outbound)(7),updown,(8),eastbound(9),westbound(10),northbound(11),southbound(12),bothDirections(13),upAnotherLane(14),downAnotherLane(15),upLeft(16),downLeft(17),upRight(18),downRight(19),upBothRoutes(20),downBothRoutes(21),inboundLeft(22),outboundLeft(23),inboundRight(24),outboundRight(25),invalidData(97),other(98),unknown(99)}」から「ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), upInbound(6), downOutbound(7), updown,(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboundLeft(22), outboundLeft(23), inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)}」へ変更した。 <p>Ver0.41 2004/03/16</p> <p>(1)変更内容</p> <p>兵庫県兵庫県道路情報総合管理システムからの要求により、以下の変更を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連 DS に「00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2次元地点位置 DS_02116 自治体等管理路線の管理系 KPDS」を追加した。 <p>Ver0.61 2005/07/27</p> <p>(1)変更内容</p> <p>誤記のため外部表現形式(データ型)の変更を行った。</p> <p>外部表現形式を「ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), upInbound(6), downOutbound(7), updown,(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboundLeft(22), outboundLeft(23), inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)}」から「ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), upInbound(6), downOutbound(7), updown,(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboundLeft(22), outboundLeft(23),</p>
--	---

	inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)」に変更した。
9. 関連DS	<ul style="list-style-type: none"> ・00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS_02111 公団路線の管理系 KPDS ・00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS_02112 建設省路線の管理系 KPDS ・00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS_02116 自治体等管理路線の管理系 KPDS ・00000 共通DS_02000 位置情報DS_02200 区間位置 DS_02204 基本道路リンク DS

・ 国土交通省路線毎 KP

1. DE名称	(1)クラス名／DE名 (ASN.1name) 位置情報／国土交通省路線毎 KP locationNationalRoadSpotKp(2)DE識別コード 10010014
2. データ定義	<p>(1)定義 国土交通省路線毎に定められた KP 値。各路線に沿って概ね 100m 間隔で付番されている。 国土交通省の路線毎のキロポスト資料「道路台帳付図」を外部参照する。</p> <p>(2)データの表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ①外部表現形式(データ型) INTEGER(-999999..999999) ②内部表現形式(データフォーマット) 999999 ③データ表現形式(実際の数値表現) -999999..999999 ④データ単位 m
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p> <p>(2)版数 0.50</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 1999/12/15</p> <p>(2)最終更新日 2005/03/04</p>
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) H10 道路通信標準道路関連情報 DD(H10年度道路通信標準における検討成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関東地建道路情報システム、情報板、道の駅、VICS: 既存システム調査した仕様書は、「建設省関東地方建設局道路交通情報システム関連機器仕様書、システム概要仕様書および関連仕様書一式」、「東京国道工事事務所道路情報システムシステム仕様書」、「千葉道の駅システムシステム仕様書」 ○ 特車管理情報(H10年度道路通信標準における検討成果) ○ インテリジェント情報板情報(H10年度道路通信標準における検討成果) <p>(2)データ定義内容 建設省路線毎に定められた KP 値。各路線に沿って概ね 10m 間隔で付番されている。</p> <p>(3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性)</p> <p>(2)数値的な精度</p> <p>(3)データ生成方法</p> <p>(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.02 2000/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義内容や品質が同様と考え以下の展開ガイドラインの情報項目を共通化した。 ○ 九州地方建設局災害対応システム 観測端末の道路延長上の位置(kp) ○ 東北地方建設局道路関連情報事前提供システム 観測位置 ○ 四国地方建設局道路関連情報事前提供システム

	<p>観測位置</p> <p>○ 北海道開発局寒冷地用AHSシステム</p> <p>観測位置</p> <p>○ 北陸地方建設局道路行政支援システム</p> <p>設置 KP 最小単位 1m0.10</p> <p>Ver0.02 2000/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <p>・位置情報クラスに定義されていた当該 DD 項目を、地物識別データとして登録し直した。</p> <p>Ver0.20 2002/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <p>・DE 名を「建設省路線毎 KP」から「国土交通省路線毎 KP」へ変更した。</p> <p>・定義を「建設省路線毎に定められた KP 値。各路線に沿って概ね 10m 間隔で付番されている。建設省の路線毎のキロポスト資料「道路台帳付図」を外部参照する」から「国土交通省路線毎に定められた KP 値。各路線に沿って概ね 100m 間隔で付番されている。国土交通省の路線毎のキロポスト資料「道路台帳付図」を外部参照する。」へ変更した。</p> <p>・単位に「m」を設定した。</p> <p>Ver0.30 2002/07/01</p> <p>(1)変更内容</p> <p>・誤記のためデータ表現形式(実際の数値表現)を「0.999999 最小刻み値は 1m」から「0..999999 最小刻み値は 1m」へ変更した。</p> <p>Ver0.50 2005/03/04</p> <p>(1)変更内容</p> <p>管轄路線の一部の区間において、マイナス値の KP を割り当てて道路管理をしている場合があるため、以下の変更を行った。</p> <p>外部表現形式を「INTEGER(0..999999)」から「INTEGER(-999999..999999)」に変更した。データ表現形式を「0..999999」から「-999999..999999」に変更した。</p>
9. 関連DS	00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS_02112 建設省路線の管理系 KPDS

・ 規制内容

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/規制内容 eventRestrictionContent (2)DE識別コード 10070054
2. データ定義	(1)定義 交通規制の大枠の内容を示す。 {規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),幅員減少(12),通行注意(13),その他(97),不明(98),無効データ(99)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),roadNarrowAheads(12),trafficCaution(13),others(97),unknown(98),invalidData(99)} ②内部表現形式(データフォーマット) 99 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..99 ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.6
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2005/07/01
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ JH東京第一管理局交通管制システム

	<p>○ JH東京第二管理局交通管制システム 交通規制イベント規制内容 1: 通行止 2: チェーン規制 3: 80キロ規制 4: 70キロ規制 5: 60キロ規制 6: 50キロ規制 7: 40キロ規制 8: 車線規制 9: 対面通行 10: 交互通行 11: 移動規制 12: 流入制限 13: 路肩通行止 99: その他参考資料交通情報交換インターフェース基準仕様書</p> <p>○ 関東地建道路交通情報システム関連 規制内容 障害発生に伴う規制の内容を示す。 0: 規制なし、1: 通行止、2: 右左折規制、3: 速度規制、4: 車線規制、5: 片側規制、6: チェーン規制、7: オンランプ規制、8: 大型通行止、9: 移動規制、10: オフランプ規制、14: その他、15: 不明 参考資料関東地建道路交通情報システム仕様書</p> <p>○ その他 (2) データ定義内容 大枠の規制の内容を示す。 (3) その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1) 時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は5分間 (2) 数値的な精度 (3) データ生成方法監視員による入力 (4) 信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される。</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.02 2000/01/18 (1) 変更内容 ・定義内容を以下のように変更した。 「道路交通法」、「道路法」等やその付属法令に基づく交通規制の大枠の内容を示す。 (2) その他(変更時の検討内容など) 参考文献: 道路交通の管理と運用</p> <p>Ver0.03 2000/02/18 (1) 変更内容 ・展開ガイドライン東北地方建設局道路関連情報事前情報提供パッケージの規制内容と定義や品質が共通であることを確認し、共通化した。当パッケージの定義は次の通り。 5分周期</p> <p>Ver0.04 2000/03/15 (1) 変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の展開ガイドラインの情報項目を共通化した。北海道開発局の他機関接続システムは、「夜間通行止(5)、冬期通行止(6)」のコードが若干異なっているため、コード定義に追加して共通化した。</p> <p>○ 日本道路公団高速バス情報提供システム 規制内容規制の内容 1: 規制なし、2: 通行止め、3: 速度規制、4: 車線規制、5: 片側規制、6: チェーン規制、7: オンランプ規制、8: 不明</p> <p>○ 九州地方建設局災害対応システム 規制内容規制の内容を示す。 {規制なし(1)、通行止め(2)、速度規制(3)、車線規制(4)、片側規制(5)、チェーン規制(6)、オンランプ規制(7)、不明(9)} 情報更新 5分周期</p> <p>○ 東北地方建設局道路関連情報事前提供システム 規制内容 {規制なし(1)、通行止め(2)、速度規制(3)、車線規制(4)、片側規制(5)、チェーン規制(6)、オンランプ規制(7)、不明(8)} 5分周期</p> <p>○ 四国地方建設局道路関連情報事前提供システム 規制内容 {規制なし(1)、通行止め(2)、速度規制(3)、車線規制(4)、片側規制(5)、チェーン規制(6)、オンランプ規制(7)、不明(8)} 5分周期</p> <p>○ 北海道開発局他主体接続システム 規制種別 {全面通行止(1)、片側交互通行(2)、片側通行止(3)、車線規制(4)、夜間通行止(5)、冬期通行止(6)、大型車通行止(7)}</p> <p>Ver0.20 2002/03/15 (1) 変更内容 ・コードを「{規制なし(0)、通行止(1)、右左折規制(2)、速度規制(3)、車線規制(4)、片側規制(5)、チェーン規制(6)、オンランプ規制(7)、大型通行止め(8)、移動規制(9)、オフランプ</p>

	<p>規制(10),80キロ規制(11),70キロ規制(12),60キロ規制(13),50キロ規制(14),40キロ規制(15),対面通行(16),交互通行(17),流入制限(18),路肩通行止(19),夜間通行止(20)、冬期通行止(21),その他(22),不明(23)}}から「{規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),その他(97),不明(98),無効データ(99)}}へ変更した。</p> <p>・上記変更に伴い、外部表現形式を「ENUMERATED {noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),speedLimit80km/h(11),speedLimit70km/h(12),speedLimit60(13),speedLimit50(14),speedLimit40(15),twoWayTraffic(16),AlternatingTraffic(17),inflowRestriction(18),roadShoulderRoadClosed(19),nightRoadClosed(20),roadClosedInWinter(21),others(22),unknown(23)}}から「ENUMERATED {noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),others(97),unknown(98),invalidData(99)}}へ変更した。</p> <p>・上記変更に伴い、データ表現形式を「00..23」から「00..99」へ変更した。</p> <p>・「規制内容」及び「規制内容詳細」のコード内容が類似しており、統合化すべき内容であるためひとつのデータディクショナリ「規制内容詳細」に統合し、当該DDは削除していたが、「規制内容詳細」との違いを明確にし、登録ステータスを「invalid」から「recorded」へ変更した。</p> <p>Ver0.6 2005/07/01 (1) 変更内容 リアルタイム路上規制入力システム(新道路情報提供システム)からの要求により、以下の変更(コード追加)をおこなった。 コード ASN 型を「{規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),その他(97),不明(98),無効データ(99)}}から「{規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),幅員減少(12),通行注意(13),その他(97),不明(98),無効データ(99)}}に変更した。外部表現形式を 「ENUMERATED{noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),others(97),unknown(98),invalidData(99)}}から 「ENUMERATED{noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),roadNarrowAheads(12),trafficCaution(13),others(97),unknown(98),invalidData(99)}}に変更した。</p>
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15105 通行規制情報 DS

気象形態

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/気象形態 eventWeatherPattern (2)DE識別コード 10070001
2. データ定義	(1)定義 気象とはある地域の気温・湿度・降水量・日照時間・雲量等を総合した大気の状態をいい、気象状態を、気象コードに合わせて示す。雲量がおおむね 80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、

	<p>雲量がおおむね 80%以上の状態で、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね 1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。</p> <p>詳細なし(0),晴(1),雨(2),雪(3),霧(4),雷(5),風雨(6),雷雨(7),大雨(8),風雪(9),大雪(10),吹雪(11),地吹雪(12),凍結(13),凍結の恐れ(14),積雪(15),シャーベット(16),圧雪(17),雪崩(18),横風(19),台風(20),地震(21),洪水(22),河川氾濫(23),決壊(24),波浪(25),高潮(26),高波(27),越波(28),津波(29),噴火(30),土石流(31),薄雲(32)、曇(33)、砂じんあらし(34)、みぞれ(35)、あられ(36)、ひょう(37)、晴・曇(38)その他(98),無効データ(99)}</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型)</p> <p>ENUMERATED{notSpecified(0),fine(1),precipitation(2),snow(3),fog(4),thunder(5),windAndRain(6),thunderAndRain(7),heavyRain(8),windAndSnow(9),heavySnow(10),snowstorm(11),blowingSnow(12),freezing(13),fearOffFreezing(14),deepSnows(15),sherbet(16),snowCompaction(17),snowslide(18),sideWind(19),typhoon(20),earthquake(21),flooding(22),riverOverflow(23),leveeCollapse(24),waves(25),floodTide(26),highWaves(27),toppingWaves(28),tsunami(29),eruption(30),debrisFlow(31),thinCloud(32),overcast(33),dustStorm(34),sleet(35),graupel(36),hail(37),fineAndCloudy(38)others(98),invalidData(99)}</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 99</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) 0..99</p> <p>④データ単位 -</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p> <p>(2)版数 0.61</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 2000/01/10(2)最終更新日 2005/07/27</p>
5. 最終設定者	<p>JICE</p>
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等)</p> <p>○道路管理に関するシステムタスクフォース(H10 年度道路通信標準における検討結果)</p> <p>日本道路公団 交通情報交換インタフェース仕様書</p> <p>データ名:気象分類</p> <p>定義 {1:雨, 2:雪, 3:霧, 4:凍結, 5:横風, 6:風雨, 7:雷雨, 8:積雪, 9:吹雪, 10:凍結の恐れ, 11:高波, 12:台風, 13:地震, 99:その他}</p> <p>気象イベントフォーマット</p> <p>首都公団交通管制システムインタフェース仕様書</p> <p>データ名:形態</p> <p>定義: {141:強風, 142:凍結, 143:霧, 144:雪}</p> <p>異常事態イベント 異常気象</p> <p>首都公団 システム97</p> <p>データ名:異常気象形態</p> <p>定義: 当該異常気象の形態を示すコード(人による判断で入力されるコード)</p> <p>{141:強風, 142:凍結, 143:霧, 144:雪, 145:雨*, 146:高波*, 147:地震*, 148:その他*}</p> <p>(2)データ定義内容</p> <p>天候状態を、天候コードに合わせて示す。雲量がおおむね 80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、雲量がおおむね 80%以上の状態で、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね 1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。</p> <p>{詳細なし(0),雨(1),雪(2),霧(3),雷(4),風雨(5),雷雨(6),大雨(7),風雪(8),大雪(9),吹雪(10),地吹雪(11),凍結(12),凍結の恐れ(13),積雪(14),シャーベット(15),圧雪(16),雪崩(17),</p>

	<p>横風(18),台風(19),地震(20),洪水(21), 河川氾濫(22),決壊(23),波浪(24), 高潮(25),高波(26),越波(27),津波(28), 噴火(29),土石流(30),その他(98),不明(99)} (3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 0~99 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・定義を「天候状態を、天候コードに合わせて示す。雲量がおおむね80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、雲量がおおむね80%以上の状態、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。」から「気象とはある地域の気温・湿度・降水量・日照時間・雲量等を総合した大気の状態をいい、気象状態を、気象コードに合わせて示す。雲量がおおむね80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、雲量がおおむね80%以上の状態、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。」へ変更した。 Ver0.61 2005/07/27 (1)変更内容 誤記のため外部表現形式(データ型)の変更を行った。 外部表現形式を 「ENUMERATED{notSpecified(0),fine(1),precipitation(2),snow(3),fog(4),thunder(5),windAndRain(6),thunderAndRain(7),heavyRain(8),windAndSnow(9),heavySnow(10),snowstorm(11),blowingSnow(12),freezing(13),fearOffFreezing(14),deepSnows(15),sherbert(16),snowCompaction(17),snowslide(18),sidewind(19),typhoon(20),earthquake(21),flooding(22),riverOverflow(23),leveeCollapse(24),waves(25),floodTide(26),highWaves(27),toppingWaves(28),tsunami(29),eruption(30),debrisFlow(31),thinCloud(32),overcast(33),dustStorm(34),sleet(35),graupel(36),hail(37),fineAndCloudy(38)others(98),invalidData(99)}」から 「ENUMERATED{notSpecified(0),fine(1),precipitation(2),snow(3),fog(4),thunder(5),windAndRain(6),thunderAndRain(7),heavyRain(8),windAndSnow(9),heavySnow(10),snowstorm(11),blowingSnow(12),freezing(13),fearOffFreezing(14),deepSnows(15),sherbet(16),snowCompaction(17),snowslide(18),sideWind(19),typhoon(20),earthquake(21),flooding(22),riverOverflow(23),leveeCollapse(24),waves(25),floodTide(26),highWaves(27),toppingWaves(28),tsunami(29),eruption(30),debrisFlow(31),thinCloud(32),overcast(33),dustStorm(34),sleet(35),graupel(36),hail(37),fineAndCloudy(38)others(98),invalidData(99)}」に変更した。</p>
9. 関連DS	<p>10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15107 気象情報</p>

・ 気象状態予測

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／気象状態予測 eventWeatherConditionForecast (2)DE識別コード 10070002
2. データ定義	(1)定義 現場作業員が気象庁予報などを参考に判断した、気象状態予測(今後の状態)を、気象状況予測コードとして示す。 {無効データ(0),強い(1),弱い(2),強まる(3),弱まる(4),解消(5),接近中(6),警報発令(7),注意報発令(8),解除(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{invalidData(0),strong(1),weak(2),gettingStronger(3),gettingWeaker(4),subsiding(5),approaching(6),warningAnnounced(7),cautionAnnounced(8),cancelled(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..9 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/10 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○道路管理に関するシステムタスクフォース、インテリジェント情報板システムタスクフォース(H10 年度道路通信標準における検討結果) 日本道路公団 データ名 : 気象状態 1:強い, 2:弱い, 3:強まる, 4:弱まる, 5:解消, 99:その他 気象イベントフォーマット 交通情報交換インタフェース仕様書 (2)データ定義内容 現場作業員が気象庁予報などを参考に判断した、気象状態予測(今後の状態)を、気象状況予測コードとして示す。 {強い(1),弱い(2),強まる(3),弱まる(4),解消(5),接近中(6),警報発令(7),注意報発令(8),解除(9)} (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため外部表現形式(データ型)を 「ENUMERATED{invalidData(0),strong(1),weak(2),gettingStronger(3),gettingWeaker(4),subsiding(5),approaching(6),warningAnnounced(7),cautionAnnounced(8),cancelled(9)}」から 「ENUMERATED{invalidData(0),strong(1),weak(2),gettingStronger(3),gettingWeaker(4),subsiding(5),approaching(6),warningAnnounced(7),cautionAnnounced(8),cancelled(9)}」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15107 気象情報

・ 構造物種別

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 施設情報／構造物種別 facilityStructureType (2)DE識別コード 10040035
2. データ定義	(1)定義 構造物の種別を表す {路面(1),路肩(2),法面(3),橋梁(4),擁壁・護岸(5),横断施設(6),トンネル(7),道路附属物(8),共同溝(9),占有物件(10),その他(11),無効データ(99)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{roadSurface(1),shoulder(2),slopeFace(3),bridgeBeam(4),retainingWallAndBankProtection(5),crossingFacilities(6),tunnel(7),roadAccessory(8),utilityTunnel(9),occupiedProperty(10),other(11)invalidData(99)} ②内部表現形式(データフォーマット) 99 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..99 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/25 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ※システムモデルに基づくメッセージセットで定義された DE に対応 データ名 : 構造物種別 構造物の種別を表す {路面(1),路肩(2),法面(3),橋梁(4),擁壁・護岸(5),横断施設(6),トンネル(7),道路附属物(8),共同溝(9),占有物件(10),その他(11)} (2)データ定義内容 構造物の種別を表す {路面(1),路肩(2),法面(3),橋梁(4),擁壁・護岸(5),横断施設(6),トンネル(7),道路附属物(8),共同溝(9),占有物件(10),その他(11)} (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 ・無効データの設定 Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・クラスを「計測情報」から「施設情報」へ変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13001 変位観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13002 加速度観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13003 ひずみ観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13004 応力観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13005 土圧観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13006 間隙水圧観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13007 水位観測装置

・ 運営主体住所

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 運営主体情報／運営主体住所 organizationAddress (2)DE識別コード 11010010
2. データ定義	(1)定義 当該運営主体及び担当者の住所 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(40)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 関東地方建設局 特車行政手続き対応 申請者担当者住所 VARCHAR2(80) (2)データ定義内容 当該運営主体及び担当者の住所 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム ○ 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(40)」から「UTF8String(size(40))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(40)」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(40)」から「-」へ変更した。 Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため ASN.1name を「organizationAdress」から「organizationAddress」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 運営主体電話番号

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 運営主体情報／運営主体電話番号 organizationTelNum (2)DE識別コード 11010011
2. データ定義	(1)定義 当該運営主体及び担当者の電話番号 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(20)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) -

	④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.31
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2003/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 関東地方建設局 特車行政手続き対応 申請者担当者電話番号 CHAR(13) (2)データ定義内容 当該運営主体及び担当者の電話番号 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム ○ 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(20)」から「INTEGER(0..999999999)」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(20)」から「999999999」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(20)」から「0..999999999」へ変更した。 Ver0.31 2003/03/15 (1)変更内容 ・コード番号にアルファベットが含まれているコードがあるため、外部表現形式(データ型)を「INTEGER(0..999999999)」から「UTF8String(size(20))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「999999999」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「0..999999999」から「-」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 運営主体 FAX 番号

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 運営主体情報/運営主体 FAX 番号 organizationFaxNum (2)DE識別コード 11010012
2. データ定義	(1)定義 当該運営主体及び担当者の FAX 番号 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(20)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.31
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2003/03/15
5. 最終設定者	HIDO

6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 関東地方建設局 特車行政手続き対応 申請者担当者 FAX 番号 CHAR(13) (2)データ定義内容 当該運営主体及び担当者の FAX 番号 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(20)」から「INTEGER(0..999999999)」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(20)」から「999999999」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(20)」から「0..999999999」へ変更した。 Ver0.31 2003/03/15 (1)変更内容 ・コード番号にアルファベットが含まれているコードがあるため、外部表現形式(データ型)を「INTEGER(0..999999999)」から「UTF8String(size(20))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「999999999」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「0..999999999」から「-」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 運営主体 Email アドレス

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 運営主体情報/運営主体 Email アドレス organizationEmail (2)DE識別コード 11010013
2. データ定義	(1)定義 当該運営主体及び担当者の Email アドレス (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) OCTET STRING(size(0..256)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 関東地方建設局 特車行政手続き対応 申請者担当者 E_mail 名 VARCHAR2(40) (2)データ定義内容 当該運営主体及び担当者の Email アドレス (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容

	<ul style="list-style-type: none"> ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム ○ 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム <p>Ver0.20 2002/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(40)」から「OCTET STRING(size(0..256))」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 地整体制コード

1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name)</p> <p>イベント情報/地整体制名称</p> <p>eventRegionalConstructionBureauSystemName</p> <p>(2)DE識別コード 10070082</p>
2. データ定義	<p>(1)定義</p> <p>地整の体制を表す名称</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(0..64))</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) -</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) -</p> <p>④データ単位 -</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p> <p>(2)版数 0.20</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 2000/01/06</p> <p>(2)最終更新日 2002/03/15</p>
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等)</p> <p>○ 九州地方建設局 災害対応システム</p> <p>事務所体制コード</p> <p>事務所の体制を表すコード</p> <p>1 整数 情報更新 5 分周期</p> <p>地建体制コード</p> <p>地建の体制を表すコード</p> <p>1 整数</p> <p>(2)データ定義内容</p> <p>事務所、地建の体制を表す名称</p> <p>(3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期</p> <p>(2)数値的な精度</p> <p>(3)データ生成方法 監視員による入力</p> <p>(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.20 2002/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DE 名を「体制名称」から「地整体制名称」へ変更した。 ・誤記のため、ASN.1name を「OfficeSystemName」から「eventRegionalConstructionBureauSystemName」へ変更した。 ・定義を「事務所、地建の体制を表す名称」から「地整の体制を表す名称」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)の設定方針の統一を図るため、「OCTET STRING」から「UTF8String(size(0..64))」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15500 道路管理者用情報 DS__15501 警戒体制

・ 震度

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name)
---------	------------------------

	イベント情報／震度 eventMeasuredScaleOfAnEarthquake (2)DE識別コード 10070006
2. データ定義	(1)定義 地震のときの地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすもの。各地に設置された震度計や気象台や測候所の担当者の判断により、気象庁の震度階級に基づき震度1～8で定義される。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) INTEGER(1..8) ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..8 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/12 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○道路管理に関するシステムタスクフォース、インテリジェント情報板システムタスクフォース、OD 交通データ計測・予測システムタスクフォース、(H10 年度道路通信標準における検討結果) ○展開ガイドライン 九州地建災害対応システム データ名 日本道路公団東京第二管理局 イベント処理装置一局内システム データ名:計測震度 定義:計測される震度 ○道路管理に関するシステムタスクフォース、インテリジェント情報板システムタスクフォース、OD 交通データ計測・予測システムタスクフォース(H10 年度道路通信標準における検討結果) (2)データ定義内容 地震のときの地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすもの。各地に設置された震度計や気象台や測候所の担当者の判断により、気象庁の震度階級に基づき震度1～8で定義される。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) 5 分周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2000/01/20 (1)変更内容 ・以下の定義に変更した。 「地震のときの、地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすものであり、各地に設置された震度計の計測により、気象庁の震度階級に基づき震度0～7の 10 階級で示される。」 (2)その他(変更時の検討内容など) 初期設定における表現の、「測候所の担当者の判断」、「震度1～8で定義」は以前用いられていた考え方であるため、現在行われている変更内容のように訂正を行った。 Ver0.02 2000/03/15 (1)変更内容 ・以下のデータを共通化した。 ○展開ガイドライン 九州地建災害対応システム データ名 :震度 定義 :マグニチュードを示す。 精度、単位:0.1 整数 Ver0.02 2000/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項

	<p>目を共通化した。</p> <p>○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム</p> <p>○ 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム</p> <p>Ver0.30 2002/07/01</p> <p>(1)変更内容</p> <p>・誤記のため外部表現形式(データ型)を「INTEGER(10..80)」から「INTEGER(1..8)」へ変更した。</p> <p>・誤記のため内部表現形式(データフォーマット)を「99」から「9」へ変更した。</p>
9. 関連DS	<p>・10000 個別システム用DS_12000 環境観測データDS_12100 気象 DS_12109 地震</p> <p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15107 気象情報</p>

・ 震源規模

1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 計測情報/震源規模 calculationEarthquakeScale</p> <p>(2)DE識別コード 10050072</p>
2. データ定義	<p>(1)定義 震源の規模(マグネチュード)を現す数値</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型) INTEGER(0.. 999)</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 99v9</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) 0.. 99.9</p> <p>④データ単位 -</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p> <p>(2)版数 0.20</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 2001/08/01</p> <p>(2)最終更新日 2002/03/15</p>
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム</p> <p>(2)データ定義内容 震源の規模(マグネチュード)を現す数値</p> <p>(3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性)</p> <p>(2)数値的な精度</p> <p>(3)データ生成方法</p> <p>(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.20 2002/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <p>・内部表現形式(データフォーマット)を「999」から「99v9」へ変更した。</p> <p>・データ表現形式(実際の数値表現)を「0.. 999」から「0.. 99.9」へ変更した。</p>
9. 関連DS	<p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15107 気象情報</p> <p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15122 地震震源情報</p>

・ 震源深さ

1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 計測情報/震源深さ calculationCentrumDepth</p> <p>(2)DE識別コード 10050073</p>
2. データ定義	<p>(1)定義 震源の深さ(Km)を現す数値</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型) INTEGER(0.. 9999)</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 999v9</p>

	③データ表現形式(実際の数値表現) 0.. 999.9 ④データ単位 Km
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2001/08/01 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム (2)データ定義内容 震源の深さ(Km)を現す数値 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、外部表現形式(データ型)を「INTEGER(0.. 999.9)から「NTEGER(0.. 9999)」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「9999」から「999v9」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「0.. 9999」から「0.. 999.9」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15122 地震震源情報

・ 渋滞状況

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/渋滞状況 eventTrafficJamLesStatus (2)DE識別コード 10070070
2. データ定義	(1)定義 現状の渋滞状況を示す。 {渋滞なし(1),自由流(2),流れが悪い(3),渋滞中(4),混雑(5),断続渋滞(6),,無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{noJam(1),freeFlow(2),illFlow(3),jam(4),crowded(5),continuousJam(6),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ JH東京第一管理局交通管制システム ○ JH東京第二管理局交通管制システム 渋滞状況 渋滞イベントフォーマット {渋滞中(1),流れが悪い(2)} 交通情報交換インタフェース仕様書 ○ 関東地建 道路交通情報システム関連 渋滞状況 渋滞区間の渋滞状況を示す。 {不明(0)、渋滞なし(1)、混雑(2)、渋滞(3)、(4)断絶渋滞、(5)~(15)未使用} ○ その他

	<p>インテリジェント情報板情報(H10年度道路通信標準における検討成果)</p> <p>コード定義(コード名称: 渋滞 状況コード)</p> <p>渋滞 混雑 自由流</p> <p>(2)データ定義内容現在の渋滞状況を示す。 {渋滞なし(1),自由流(2),流れが悪い(3),渋滞中(4),混雑(5),断続渋滞(6),}</p> <p>(3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時</p> <p>(2)数値的な精度</p> <p>(3)データ生成方法 監視員による入力</p> <p>(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される。</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.10 2001/01/31</p> <p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードに「無効データ」を追加した。 <p>Ver0.10 2001/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 <p>○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム</p> <p>Ver0.30 2002/07/01</p> <p>(1)変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤記のため ASN.1name を「eventTrafficDamLesStatus」から「eventTrafficJamLesStatus」へ変更した。
9. 関連DS	<p>10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15101 渋滞情報</p>

・ 時間交通量

1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 計測情報/1 時間交通量 calculationTrafficVolume60m</p> <p>(2)DE識別コード 10050007</p>
2. データ定義	<p>(1)定義</p> <p>単位時間(1 時間)における通過車両の交通量である。</p> <p>2 車種分類・4 車種分類・11 車種分類は以下に示す通りとする。</p> <p>2 車種分類は、車長の長さが 4.75m以上の場合は大型車両とし、4.75m未満の場合は小型車両とする。</p> <p>4 車種分類は、バスは、車高が 2.0m以上、車長が 4.75m以上、床面高さが低いものとする。大型貨物は、車高が 2.0m以上、車長が 4.75m以上、床面高さが高いものとする。小型貨物は、車高が 3.5m以上 4.0m未満又は 1.5m以上、車長が 4.75m未満のもの。乗用車は、車高が 1.5m未満のものとする。</p> <p>11 車種分類は、歩行者類、自転車類、動力付き二輪車類、軽乗用車、乗用車、バス、軽貨物車、小型貨物車、貨客車、普通貨物車、特種(殊)車とする。</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型) INTEGER(0..999999)</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 999999</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) 0..999999</p> <p>④データ単位 台</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p> <p>(2)版数 0.30</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 2002/03/15</p> <p>(2)最終更新日 2002/10/28</p>
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等)</p> <p>(2)データ定義内容</p> <p>単位時間(1 時間)における通過車両の交通量である。</p>

	(3)その他 MS との調整により DE を追加した。
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) 1 時間 (2)数値的な精度 0..999999、1 台 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.30 2002/10/28 (1)変更内容 ・2 車種分類・4 車種分類・11 車種分類を明確にするため、定義を「単位時間(1 時間)における通過車両の交通量である。」から「単位時間(1 時間)における通過車両の交通量である。2 車種分類・4 車種分類・11 車種分類は以下に示す通りとする。2 車種分類は、車長の長さが 4.75m 以上の場合大型車両とし、4.75 m 未満の場合は小型車両とする。 4 車種分類は、バスは、車高が 2.0m 以上、車長が 4.75m 以上、床面高さが低いものとする。大型貨物は、車高が 2.0m 以上、車長が 4.75m 以上、床面高さが高いものとする。小型貨物は、車高が 3.5m 以上 4.0m 未満又は 1.5m 以上、車長が 4.75m 未満のもの。乗用車は、車高が 1.5m 未満のものとする。 11 車種分類は、歩行者類、自転車類、動力付き二輪車類、軽乗用車、乗用車、バス、軽貨物車、小型貨物車、貨客車、普通貨物車、特種(殊)車とする。」へ変更した。
9. 関連DS	交通量計測値

・ 災害の概略

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/災害の概略 eventDisasterOutline (2)DE識別コード 10070038
2. データ定義	(1)定義 災害情報の概略を示す (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(0..65536)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/02/29 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○展開ガイドライン北海道開発局他主体との接続パッケージ データ名:災害の概略 災害情報の概略を示す (2)データ定義内容 災害情報の概略を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) 随時 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2:データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容

	・外部表現形式(データ型)を「UTF8String」から「UTF8String(size(0..65536))」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15109 災害情報

・ 復旧の概要

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/復旧概要 eventRestorationOutline (2)DE識別コード 10070041
2. データ定義	(1)定義 対策内容の説明、対策行程を示す (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(0..65536)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/02/29 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○展開ガイドライン北海道開発局他主体との接続パッケージ データ名:復旧概要 対策内容の説明、対策行程を示す (2)データ定義内容 対策内容の説明、対策行程を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) 随時 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・外部表現形式(データ型)を「UTF8String」から「UTF8String(size(0..65536))」へ変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15109 災害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15124 地震災害復旧情報

・ 応急復旧状況

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/応急復旧状況 eventEmergencyRestorationConditions (2)DE識別コード 10070093
2. データ定義	(1)定義 応急復旧時の復旧作業実施状況を示す。 { 未着手(0),工事中(1),工事完了(2),無効データ(9) } (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{notInitiated(0),underConstruction(1),construction

	Completed(2),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.61
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2001/08/01 (2)最終更新日 2005/07/27
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム (2)データ定義内容 応急復旧時の復旧作業実施状況。 { 未着手(0),工事中(1),工事完了(2),無効データ(9) } (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため外部表現形式(データ型)を 「ENUMERATED{NotInitiated(0), UnderConstruction(1), ContructionCompleted(2), DataInvalid(9)}」から 「ENUMERATED{notInitiated(0),underConstruction(1),construc tionCompleted(2),invalidData(9)}」へ変更した。 Ver0.61 2005/07/27 (1)変更内容 誤記のため外部表現形式(データ型)の変更を行った。 外部表現形式を 「ENUMERATED{notInitiated(0),underConstruction(1),construc tionCompleted(2),invalidData(9)}」から 「ENUMERATED{notInitiated(0),underConstruction(1),construc tionCompleted(2),invalidData(9)}」に変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15124 地震災害復旧情報

・ センサ種別

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 装置識別情報/センサ種別 deviceDistinctionCollectSensorType (2)DE識別コード 12100001
2. データ定義	(1)定義 計測に利用するセンサの種別を示す (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED ②内部表現形式(データフォーマット) ③データ表現形式(実際の数値表現) ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス incomplete (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	更新日 (1)初期設定日 2002/03/15 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) (2)データ定義内容 計測に利用するセンサの種別を示す

	(3)その他 MS との調整により DE を追加した。
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため登録ステータスを「recorded」から「imcomplete」へ変更した。
9. 関連DS	運用定義 DS 処理機能設定 DS

・ 道路被害状況

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/路面被害状況 eventRoadSurfaceDamage (2)DE識別コード 10070023
2. データ定義	(1)定義 路面の被害状況を示す {クラックの変形(1),陥没(2),局所的な盛上がり(3),目地縁部の破損(4), 段差(5),土砂(6),落石(7),浸水(8),i 無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{deformationOfCrack(1),sinking(2),localSwelling(3), breakOfJoint(4),bump(5),soil(6),rockFall(7),inundation(8),invalid Data(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 路面被害状況 路面の被害状況を示す {クラックの変形(1),陥没(2),局所的な盛上がり(3),目地縁部の破損(4),段差(5)} 情報更新 5 分周期 (2)データ定義内容 路面の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ①定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム ②中部地方整備局東海道路災害情報共有システムで使用する以下の項目の追加を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂(6) ・落石(7) ・浸水(8)
9. 関連DS	<ul style="list-style-type: none"> ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/路肩被害状況 eventShoulderDamage (2)DE識別コード 10070024
2. データ定義	(1)定義 路肩の被害状況を示す {クラックの変形(1),陥没(2),段差(3),無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{deformationOfCrack(1),sinking(2),bump(3),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○九州地方建設局災害対応システム 路肩被害状況 路肩の被害状況を示す {クラックの変形(1),陥没(2),段差(3)} 情報更新 5 分周期 (2)データ定義内容 路肩の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○栃木県大田原土木事務所道路管理システム
9. 関連DS	<ul style="list-style-type: none"> ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/法面被害状況 eventSlopeFaceDamage (2)DE識別コード 10070025
2. データ定義	(1)定義 法面の被害状況を示す{クラック(1),崩壊(2),落石(3),浮石(4),保護工破損(5),排水工破損(6),落石防止工破損(7),その他法面に設置された施設破損(8),流出(9),無効データ(99)} (2)データの表現

	<p>①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{crack(1),collapse(2),rockfall(3),crumblingRock(4), protectionCollapse(5),drainCollapse(6),collapseOfAntiRockfallSystem(7),collapseOfOtherFaceOfSlopeFacilities(8),runoff(9),invalidData(99)}</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 99</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) 1..99</p> <p>④データ単位-</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p> <p>(2)版数 0.31</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 2000/01/06</p> <p>(2)最終更新日 2003/03/15</p>
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○九州地方建設局災害対応システム 法面被害状況 法面の被害状況を示す {クラック(1),崩壊(2),落石(3),浮石(4),保護工破損(5),排水工破損(6), 落石防止工破損(7),その他法面に設置された施設破損(8)}</p> <p>情報更新 5 分周期</p> <p>(2)データ定義内容 法面の被害状況を示す</p> <p>(3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期</p> <p>(2)数値的な精度</p> <p>(3)データ生成方法監視員による入力</p> <p>(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.10 2001/02/01</p> <p>(1)変更内容 無効データの設定</p> <p>Ver0.10 2001/03/15</p> <p>(1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。</p> <p>○栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○中部地方整備局東海道路災害情報共有システム</p> <p>②中部地方整備局東海道路災害情報共有システムで使用する以下の項目の追加を行った。</p> <p>・流出(9)</p> <p>Ver0.31 2003/03/15</p> <p>(1)変更内容 ・外部表現形式(データ型)のコード内容のうち「collapseOfAnti-rockfallSystem(7)」を「collapseOfAntiRockfallSystem(7)」へ変更した。</p>
9. 関連DS	<p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報</p> <p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報</p>
1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/橋梁破損状況 eventBridgeDamage</p> <p>(2)DE識別コード 10070026</p>
2. データ定義	<p>(1)定義 橋梁破損状況 {床版コンクリート亀裂(1),橋面舗装の盛上がり(2),地覆亀裂(3),高欄破損(4),伸縮継手溶接箇所の破損(5),伸縮継手の変形亀裂(6),主構部の変曲・ねじれ(7),主構部切損・亀裂(8),コンクリート桁のクラック(9),下部工破損(10),下部工沈下傾斜(11),その他添加物(占有物件)破損(12),落橋(13),橋面開き(14),橋面段差(15),無効データ(99)}</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{crackInFloorConcrete(1),swellingOfPavementOfB</p>

	<p>ridge(2),crackInPavementOfSurface(3),breakageOfHandrail(4),breakageOfWeldingPartOfExpansionJoint(5),deformationOfExpansionJoint(6),deformationOrTwistingOfMainStructure(7),crackInMainStructure(8),crackInConcreteSpar(9),collapseOfSubstructure(10),submersionOrSlantOfSubstructure(11),otherBreakageOffacilities(12),fallABridge(13),openOfBridge(14),bumpOfBridge(15),invalidData(99)}</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 99</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) 1..99</p> <p>④データ単位-</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p> <p>(2)版数 0.10</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 2000/01/06</p> <p>(2)最終更新日 2001/03/15</p>
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等)</p> <p>○九州地方建設局災害対応システム</p> <p>橋梁破損状況橋梁破損状況</p> <p>{床版コンクリート亀裂(1),橋面舗装の盛上がり(2),地覆亀裂(3),高欄破損(4),伸縮継手溶接箇所の破損(5),伸縮継手の変形亀裂(6),主構部の変曲・ねじれ(7),主構部切損・亀裂(8),コンクリート桁のクラック(9),下部工破損(10),下部工沈下傾斜(11),その他添加物(占有物件)破損(12)}</p> <p>情報更新 5 分周期</p> <p>(2)データ定義内容</p> <p>橋梁破損状</p> <p>(3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期</p> <p>(2)数値的な精度</p> <p>(3)データ生成方法監視員による入力</p> <p>(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.10 2001/02/01</p> <p>(1)変更内容</p> <p>無効データの設定</p> <p>Ver0.10 2001/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <p>①定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。</p> <p>○栃木県大田原土木事務所道路管理システム</p> <p>○中部地方整備局東海道路災害情報共有システム</p> <p>②中部地方整備局東海道路災害情報共有システムで使用する以下の項目の追加を行った。</p> <p>・落橋(13)</p> <p>・橋面開き(14)</p> <p>・橋面段差(15)</p>
9. 関連DS	<p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報</p> <p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報</p>
1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name)</p> <p>イベント情報/擁壁・護岸被害状況</p> <p>eventRetainingWallRevetmentDamage</p> <p>(2)DE識別コード 10070027</p>
2. データ定義	<p>(1)定義</p> <p>擁壁・護岸の被害状況を示す{擁壁のクラック(1),擁壁の目地切れ(2),擁壁のはらみ出し(3),擁壁の滑動(4),護岸の背面土砂のクラック空隙(5),沈下移動(6),無効データ(9)}</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型)</p>

	<p>ENUMERATED{crackInRetainingWall(1),crackInJointOfRetainingWall(2),localSwellingOfRetainingWall(3),deformationOfRetainingWall(4),crackOfBackFillOfSeaWall(5),submersion(6),invalidData(9)}</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 9</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9</p> <p>④データ単位-</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p> <p>(2)版数 0.30</p>
4. 初期設定・最終更新日	<p>(1)初期設定日 2000/01/06</p> <p>(2)最終更新日 2002/07/01</p>
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	<p>(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等)</p> <p>○九州地方建設局災害対応システム</p> <p>擁壁・護岸被害状況</p> <p>擁壁・護岸の被害状況を示す</p> <p>{擁壁のクラック(1),擁壁の目地切れ(2),擁壁のはらみ出し(3),擁壁の滑動(4),護岸の背面土砂のクラック空隙(5),沈下移動(6)}</p> <p>情報更新 5 分周期</p> <p>(2)データ定義内容</p> <p>擁壁・護岸の被害状況を示す</p> <p>(3)その他</p>
7. データ品質、機能、作成方法など	<p>(1)時間性能(実時間性)データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期</p> <p>(2)数値的な精度</p> <p>(3)データ生成方法監視員による入力</p> <p>(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし</p>
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	<p>Ver0.10 2001/02/01</p> <p>(1)変更内容</p> <p>無効データの設定</p> <p>Ver0.10 2001/03/15</p> <p>(1)変更内容</p> <p>定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。</p> <p>○栃木県大田原土木事務所道路管理システム</p> <p>Ver0.30 2002/07/01</p> <p>(1)変更内容</p> <p>・誤記のため ASN.1name を「eventRetainingWall/RevetmentDamage」から「eventRetainingWallRevetmentDamage」へ変更した。</p>
9. 関連DS	<p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15121 災害被害情報</p> <p>・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15123 地震災害情報</p>
1. DE名称	<p>(1)クラス名/DE名(ASN.1name)</p> <p>イベント情報/横断施設被害状況 eventCrossingFacilityDamage</p> <p>(2)DE識別コード 10070028</p>
2. データ定義	<p>(1)定義</p> <p>横断施設の被害状況を示す</p> <p>{横断歩道橋の桁・支柱の異常(1),横断歩道橋の桁継手部の破損(2),横断歩道橋の基礎の異常沈下(3),地下横断歩道の異常(4),地下横断歩道の排水ポンプの異常(5),無効データ(9)}</p> <p>(2)データの表現</p> <p>①外部表現形式(データ型)</p> <p>ENUMERATED{troubleWithPoleOrSparOfPedestrianBridge(1),brakeageOfJointOfPedestrianBridge(2),submersionOfFoundationOfPedestrianBridge(3),troubleWithPedestrianTunnel(4),troubleWithDrainPumpOfPedestrianTunnel(5),invalidData(9)}</p> <p>②内部表現形式(データフォーマット) 9</p> <p>③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9</p> <p>④データ単位-</p>
3. 登録ステータス	<p>(1)登録ステータス recorded</p>

	(2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○九州地方建設局災害対応システム 横断施設被害状況 横断施設の被害状況を示す {横断歩道橋の桁・支柱の異常(1),横断歩道橋の桁継手部の破損(2), 横断歩道橋の基礎の異常沈下(3),地下横断歩道の異常(4),地下横断歩道の排水 ポンプの異常(5)} (2)データ定義内容 横断施設の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性)データ生成は随時、データ更新は5分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○栃木県大田原土木事務所道路管理システム
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/トンネル被害状況 eventTunnelDamage (2)DE識別コード 10070029
2. データ定義	(1)定義 トンネルの被害状況を示す {覆工照明機器等の破損(1),覆工の亀裂(2),漏水等の異常(3),門及び坑門付近斜面の崩壊(4),換気装置の破損(5),照明設備の破損(6),非常用施設の破損(7),覆面崩壊(8),無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{breakageOfLiningLighting(1),crackInLining(2),leakageOfWater(3),collapseOfGateOrGateSlope(4),breakageOfVentilation(5),breakageOfLightning(6),breakageOfEmergencyFacilities(7),collapseOfAMask(8),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○九州地方建設局災害対応システム トンネル被害状況 トンネルの被害状況を示す{覆工照明機器等の破損(1),覆工の亀裂(2),漏水等の異常(3),門及び坑門付近斜面の崩壊(4),換気装置の破損(5),照明設備の破損(6),非常用施設の破損(7)} 情報更新 5分周期

	(2)データ定義内容 トンネルの被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性)データ生成は随時、データ更新は5分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ①定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム ②中部地方整備局東海道路災害情報共有システムで使用する以下の項目の追加を行った。 ・覆面崩壊(8)
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/道路附属物被害状況 eventRoadAccessoriesDamage (2)DE識別コード 10070030
2. データ定義	(1)定義 道路附属物の被害状況を示す {照明・標識等のポール・支柱のわん曲(1), 灯具取付部の破損(2), 自転車駐車場の倒壊・亀裂(3), 無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{bendingOfLightingPoleOrRoadSigns(1), breakageOfLightingConnection(2), troubleWithBicycleParking(3), invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 道路附属物被害状況 道路附属物の被害状況を示す {照明・標識等のポール・支柱のわん曲(1), 灯具取付部の破損(2), 自転車駐車場の倒壊・亀裂(3)} 情報更新 5分周期 (2)データ定義内容 道路附属物の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は5分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変	Ver0.10 2001/02/01

更毎に追記)	(1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/共同溝被害状況 eventCommonDuctDamage (2)DE識別コード 10070031
2. データ定義	(1)定義 共同溝の被害状況を示す {躯体の亀裂(1),継手部漏水(2),マンホール換気口の異常(3),その他排水、換気、照明、配電設備等の破損(4)、無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{crackInBody(1),leakageOfWaterFromJoint(2),troubleWithManhole(3),otherBreakageOfDrainageVentilationLightingElectricalSupply(4),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.31
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2003/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 共同溝被害状況 共同溝の被害状況を示す {躯体の亀裂(1),継手部漏水(2),マンホール換気口の異常(3),その他排水、換気、照明、配電設備等の破損(4)} 情報更新 5 分周期 (2)データ定義内容 共同溝の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム Ver0.31 2003/03/15 (1)変更内容 ・外部表現形式(データ型)のコード内容のうち 「otherBreakageOfDrainage,ventilation,lighting,electricalSupply(4)」を「otherBreakageOfDrainageVentilationLightingElectricalSupply(4)」へ変更した。

9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15123 地震災害情報
---------	--

3.2. 河川基幹データベースシステム標準仕様(案)第 2.1 版

本章では、災害情報データ辞書(案)で引用する河川基幹データベース標準仕様(案)に定義された型を示す。なお、データ辞書(案)において引用する部分のみをプロファイルするものであり、全体を示すものではない。

型名	概略
河川番号	河川を識別するための型
水系名	水系を記述するための型
河川名	河川名を記述するための型
左右岸	左右岸を記述するための型
河川構造物種別	河川構造物の種別を記述するための型
施設管理区分	河川構造物を管理する区分

河川番号

型名	河川番号
データ型	CharacterString
データ長	16
定義	河川を識別するための番号
備考	

水系名

型名	水系名
データ型	CharacterString
データ長	40
定義	水源から共通の流出口に至る一連の流路の集合。本流とその支流、それらに接続する湖・沼なども含む。
備考	

河川名

型名	河川名
データ型	CharacterString
データ長	40
定義	河川法における河川の名前。 一級河川及び二級河川を指す。「一級河川」とは、国土保全上又は国民経済上特に重要な水系で政令で指定したものに係る河川(公共の水流及び水面をいう。以下同じ。)で国土交通大臣が指定したものをいう。「二級河川」とは、前条第一項の政令で指定された水系以外の水系で公共の利害に重要な関係があるものに係る河川で都道府県知事が指定したものをいう。
備考	

左右岸

型名	左右岸
データ型	CharacterString
データ長	2
定義	左岸及び右岸の別
備考	値として左または右をとる。

河川構造物種別

型名	河川構造物種別		
データ型	CharacterString		
データ長	0, 5		
定義	河川構造物の種類を識別する番号		
備考	以下の値をとる		
構造物種別	属性番号	構造物種別	属性番号
ダム	01	揚水機場	07
堰	02	排水機場	08
樋門・樋管	03	橋梁	09
水門	04	観測施設	10
閘門	05	堤防	11
陸閘	06	護岸	12
緊急河川敷道路	90	緊急船着場	91

*本データ辞書(案)で拡張

施設管理区分

型名	施設管理区分		
データ型	CharacterString		
データ長	10		
定義	施設を管理する主体		
備考	以下の値をとる		
管理区分	属性番号	管理区分	属性番号
国	01	許可工作物	04
県	02	兼用工作物	05
市町村	03	その他	06

4. JMP2.0（日本版メタデータプロファイル）

災害情報データ辞書(案)においてメタデータの仕様は、JMP2.0 を採用する。なおメタデータは災害後に、収集した情報を管理する場合等の説明情報として用いる。

JMP2.0 の仕様は、別添 1「JMP2.0 仕様書（国土地理院技術資料 E1-No.281）」による。

災害情報データ辞書(案)においてメタデータの仕様として、JMP2.0 を採用する。なおメタデータは災害後に、収集した情報を管理する場合等の説明情報として用いる。

JMP2.0 の仕様は、別添 1「JMP2.0 仕様書（国土地理院技術資料 E1-No.281）」による。